2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ｉ【総合基礎Ｉ（文章表現･読解法）】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	河井　謙治 （かわい　けんじ）	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	１）文章作成の実践指導及び小論。 ２）文の添削・批評を中心に展開する。したがって、学生主体に繰り広げたいと考えているので、積極的な参加と不断の努力を望む。 ３）その場で「読み・書き」の課題（テーマ）を出す。主に前半は読解に努め、後半は各自に作文してもらう。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	昔から「読み･書き･そろばん」が教育の根本だと言われる。そこで本科目では多様なジャンルの小品を読み（読解）、筆者の主張のまとめ及びそれに対する各自の主張を書くこと（表現）ができるようにしたい。つまり、事実を正確に伝える文章力の養成を目標とする。

【担当教員から】

教科書	教科書などは使用せず、必要に応じて関連のプリントを配布する。
参考書	国語辞典必携。電子辞書使用可。
成績評価基準	1）課題等の提出状況及び小論文（ルーブリック評価等） 2）1)とは別に隔週一回、新聞のコラム欄を使って、要旨のまとめ、その論に対する各自の考えをまとめて提出してもらいます(自宅学習用)。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合(%)） 課題(レポート等)提出－－－－－－－－－１００％ ※上記の 1)～2)の総合成績で評価する。
履修の条件 留意点	期末試験、課題の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・文章表現･読解法の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 「ものを読み、あるテーマについて書く」という行為は、実は大変な難行苦行を伴うものであり、一朝一夕には会得できないものです。したがって、常に興味･関心事を集めるためのアンテナを張り巡らし、知識や情報を収集することが肝要です。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	ガイダンス・小論文「自己を見つめる」	書くための基礎力、構成力、文章の展開と表現力をつける。	講義
	2	友人関係。小論文「友達との付き合い方」		講義
	3	自分の立ち位置を考える。敬語の学習①		講義
	4	自分の立ち位置を考える。敬語の学習①		講義
	5	人口問題。小論文「高齢化社会」漢字演習		講義
	6	現代に生きる四字熟語とことわざ。漢字演習		講義
	7	怪我を考える。小論文「痛みに耐える」	現代社会での現象について状況を分析し、自分の意見を持ち、それを表現する。	講義
	8	社会生活。小論文「受動喫煙」。漢字演習		講義
	9	これからの未来。小論文「AI・自動運転」		講義
	10	現代社会を考える。小論文「マナーと規範」		講義
	11	手紙の学習。演習「未来の自分を設定する」		講義
	12	小論文「男女平等の考え方」。漢字演習		講義
	13	小論文「海外志向の動向と意見」。漢字演習		講義
	14	俳句川柳の鑑賞と創作。古典の学習。	現代社会を俳句・川柳で表現し、多様な考え方を共有し認め合う。	講義
	15	創作川柳の講評・社会を見つめる態度を養う。		講義

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ｉ【総合基礎Ｉ（生物Ｉ）】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	佐藤　由紀夫 （さとう　ゆきお）	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	細胞から始まり生物を構成する物質、代謝、遺伝子など生物の基礎を学ぶ。高校生物基礎の学習内容を基本としつつ医療への道へ進む学生の進路に役立つ基礎教養を重点的に学べるような内容とする。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	生物全般の基本を学ぶが特に細胞と遺伝子を中心に学ぶ。

【担当教員から】

教科書	授業中に配布する資料を使うため、教科書は設定しない
参考書	高校教科書の「生物」あるいは参考書
成績評価基準	定期試験：シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。 課題（レポート・小テスト等） 小テストは授業時間内に実施し、各定期試験に反映させることがある。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合（%）） 期末（到達目標達成確認）試験成績－－－９０％ （課題等を行わなかった場合は１００％） 課題等－－－－－－－－－－－－－－－－１０％（課題等を行った場合の加算割合）
履修の条件 留意点	期末（到達目標達成確認）試験、課題の評価を合計して６０％以上で履修とする。 この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・生物Ｉの単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０％以上の出席が必要です。 体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容 本講義は生命現象を理解するための基本を学びます。授業後は復習の習慣をつけることが大切。学習した当日に復習をする習慣をつけてもらいたい。予習より復習が重要で講義当日と１週間後に復習をすると効果的に学習内容を定着させることができます。その時々の生物に関する話題も取り入れて楽しく、活発な授業にしていきたいと思っています。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	生命の共通性としての細胞	細胞についての基本について説明できる。	講義
	2	細胞・組織・物質		講義
	3	酵素・代謝・ATP	酵素の性質や光合成・呼吸を説明できる。	講義
	4	遺伝子とDNA	遺伝子DNAについてその構造、複製方法、について理解し説明できる。	講義
	5	遺伝子の複製と体細胞分裂		講義
	6	遺伝情報の発現	タンパクが合成される過程を説明できる。	講義
	7	PCR法とその利用	PCR法の原理と利用について答えられる。	講義
	8	バイオテクノロジー1	遺伝子組換えの基本原理について説明でき、組換え作物などについての基本事項に答えられる。	講義
	9	バイオテクノロジー2		講義
	10	体液・血球・血液凝固	組織液・リンパ液・血液の基本を理解説明できる。血液凝固、酸素運搬、腎臓、肝臓について理解し結構維持について正しく考えることができる。	講義
	11	血液循環と酸素の運搬		講義
	12	肝臓・腎臓		講義
	13	総復習	問題演習で既習事項を確認できる。	講義
	14	前期末試験	修了試験	講義
	15	前期のまとめ・補習	試験問題の題意、内容を理解できる。	試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅰ【総合基礎Ⅰ（生物Ⅱ）】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	佐藤　由紀夫 （さとう　ゆきお）	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	前期生物Ⅰで学んだ内容を基本にさらに生物について学ぶ。特にヒトを中心とした恒常性・免疫・神経・感覚器を健康と関連付けて学ぶ。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	生物全般の基本を学ぶが特に体の恒常性、感覚器、行動についての基本を理解できることを目指す。特に動物を中心とし学ぶことで医学の基礎知識を得ることを目指す。

【担当教員から】

教科書	授業中に配布する資料を使うため、教科書は設定しない
参考書	高校教科書の「生物」あるいは参考書
成績評価基準	定期試験:シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。 課題(レポート・小テスト等) 小テストは授業時間内に実施し、各定期試験に反映させることがある。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験成績－－－９０％ （課題等を行わなかった場合は１００％） 課題等－－－－－－－－－－－－－－－１０％（課題等を行った場合の加算割合）
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して６０％以上で履修とする。この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・生物Ⅱの単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０％以上の出席が必要です。 体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容 本講義は生命現象を理解するための基本を学びます。授業後は復習の習慣をつけることが大切。学習した当日に復習をする習慣をつけてもらいたい。予習より復習が重要で講義当日と１週間後に復習をすると効果的に学習内容を定着させることができます。その時々の生物に関する話題も取り入れて楽しく、活発な授業にしていきたいと思っています。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	自律神経による調節	自律神経・ホルモンによる体液濃度、血糖値などの調節について理解し説明できる。	講義
	2	ホルモンによる調節		講義
	3	免疫１ 異物侵入の阻止と自然免疫	免疫仕組みについて説明できる。また疾病と免疫の関係を理解し健康管理について正しく判断できる。	講義
	4	免疫２ 獲得免疫		講義
	5	免疫３ 免疫と病気		講義
	6	刺激と応答・神経系	刺激と応答について各感覚器について構造とそのはたらきについて理解し、説明できる。また行動や疾患との関連について説明できる。	講義
	7	さまざまな感覚と適刺激・眼の構造と視覚		講義
	8	耳の構造と聴覚・平衡感覚		講義
	9	中枢神経系	脳・脊髄の基本構造をヒト以外の動物についても理解できる。また筋の基本構造とそのはたらきにて理解し説明できる。	講義
	10	筋収縮		講義
	11	行動		講義
	12	最新生物学の話題	最新の話題について学ぶ意欲を持てる。	講義
	13	ここまでの総復習	問題演習で既習事項を確認できる。	講義
	14	後期末試験	修了試験	講義
	15	後期のまとめ・補習	試験問題の題意、内容を理解できる。	試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ｉ【総合基礎Ｉ（コミュニケーション心理学）】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	津野田　聡子 （つのだ　さとこ）	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	心理学の基礎的な知見を習得することで心の問題に関する科学的視点を養い、深い人間理解を目指す。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	コミュニケーションと、それに関わる諸問題を理解した上で、実習をまじえコミュニケーションスキルの獲得，上達を目指す。

【担当教員から】

教科書	必要に応じてプリントの配布、資料の提示などを行う。
参考書	参考書に関しては必要に応じて、授業中に指示する。
成績評価基準	期末試験：シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。課題（レポート・小テスト等）：レポートであればルーブリック評価を用い、小テストは授業時間内に実施し、各期末試験に反映させることがある。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験成績－－－－－－－１００％ ※課題等がある学期には評価に加算する。
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・コミュニケーション心理学の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業中は積極的にメモを取ること。そして、授業で学んだことを元に、日常生活における心理学的な事柄について考察する姿勢を受講生に求めます。心理学ではどの様にして「心を理解しようとしているか」を考えながら授業に臨んで下さい。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	オリエンテーション	心理学という学問に対する正しい理解を得る。	講義
	2	心理学の歴史		講義
	3	進化と心		講義
	4	発達：乳幼児期の発達		講義
	5	発達段階説,life cycle, identity		講義
	6	性格と知能：理論と検査		講義
	7	感覚と知覚：外界をしめるメカニズム、錯視		講義
	8	動機づけ		講義
	9	学習：条件づけ		講義
	10	記憶：記憶の理論と特性		講義
	11	臨床心理：ストレス、心理病理等	心の問題に対する論理的な思考を身につける。	講義
	12	社会心理		講義
	13	神経心理：脳損傷と心的機能		講義
	14	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	15	まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】形態機能学Ⅰ【人体構造学（解剖学）】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	李　英俊 （い　よんじゅん）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	生体の構造を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な構造が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な構造を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の構造について学習するとともに、その名称や機能についても学習する。

【担当教員から】

教科書	１.「解剖学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「解剖学ワークブック」　医歯薬出版(株) ２.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験(年度末試験含む)：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅰの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業の中で特に赤字で示されているような重要な個所は、「教科書にチェック」して確認すると同時に、 自分なりの「まとめ」を作成することをおすすめします。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	人体の構造①	４大組織を概説できる。	講義
	2	人体の構造②	細胞膜と細胞小器官の構造と機能を説明できる。	講義
	3	人体の構造③	物質の移動や体液のイオン組成・pH の仕組みを説明できる。	講義
	4	消化器系①	消化器の構造（口腔・食道・胃）を説明できる。	講義
	5	消化器系②	消化器の構造（小腸・大腸）を説明できる。	講義
	6	消化器系③	消化器の構造（肝臓・膵臓・胆嚢）を説明できる。	講義
	7	呼吸器系①	呼吸器の構造（喉頭軟骨・気管）を説明できる。	講義
	8	呼吸器系②	呼吸器の構造（肺・縦隔）を説明できる。	講義
	9	循環器系①	心臓の構造を説明できる。	講義
	10	循環器系②	動脈系の構造（冠動脈から腹大動脈）を説明できる。	講義
	11	期末試験		試験
	12	解説＋循環器③	動脈系の構造（総腸骨動脈より足方）を説明できる。	講義
２期	13	循環器系④	静脈系（動脈との違い・皮静脈）、門脈の構造を説明できる。	講義
	14	循環器系⑤	リンパ系の構造を説明できる。	講義
	15	泌尿器系①	腎臓の構造の構造を説明できる。	講義
	16	泌尿器系②	尿路の構造を説明できる。	講義
	17	生殖器系①	男性生殖器、男女の外生殖器の構造を説明できる。	講義
	18	生殖器系②	女性生殖器の構造を説明できる。	講義
	19	内分泌系①	ホルモンの分泌調節について説明できる。	講義
	20	内分泌系②	視床下部、下垂体の構造と分泌されるホルモンの作用について説明できる。	講義
	21	内分泌系③	甲状腺、副甲状腺の構造と分泌されるホルモンの作用について説明できる。	講義
	22	内分泌系④	副腎の構造と分泌されるホルモンの作用について説明できる。	講義
	23	期末試験		試験
	24	解説＋中枢神経①	神経系の分類を概説できる。	講義
３期	25	中枢神経系②	中枢神経（脊髄・脳幹）の構造と機能と機能を説明できる。	講義
	26	中枢神経系③	中枢神経（大脳・小脳）の構造と機能と機能を説明できる。	講義
	27	末梢神経系①	脳神経（頭蓋底の構造から頭蓋骨の確認）	講義
	28	末梢神経系②	自律神経（交感神経・副交感神経）の走行を説明できる。	講義
	29	末梢神経系③	脊髄神経（頸神経・胸神経）の走行と分布を説明できる。	講義
	30	末梢神経系④	脊髄神経（腰神経・仙骨神経）の走行と分布を説明できる。	講義
	31	末梢神経系⑤	デルマトームを説明できる。 伝導路を概説できる。	講義
	32	感覚器系①	皮膚の構造について説明できる。	講義
	33	感覚器系②	視覚器の構造について説明できる。	講義
	34	感覚器系③	聴覚器の構造について説明できる。	講義
	35	期末試験		試験
	36	解説＋全体まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】形態機能学Ⅱ【人体機能学（生理学）】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	梅澤　輝泰 （うめざわ　てるやす）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	生体の機能を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な機能が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な機能を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の機能について学習するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	１.「生理学」第３版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「標準生理学」　医学書院 ２.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験(年度末試験含む)：１００%
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験(年度末試験含む)：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	栄養と代謝①	栄養素の種類を説明できる。代謝の仕組みを理解できる。	講義
	2	栄養と代謝②	栄養素の種類を説明できる。代謝の仕組みを理解できる。	講義
	3	体温とその調節①	熱産生と熱放散の要因を説明できる。	講義
	4	体温とその調節②	発汗調節と体温調節の障害を説明できる。	講義
	5	消化と吸収①	消化管の運動の仕組みを説明できる。	講義
	6	消化と吸収②	消化液の種類とその分泌調節を説明できる。	講義
	7	消化と吸収③	栄養素の吸収の仕組みを説明できる。	講義
	8	消化と吸収④	肝臓の機能を説明できる。	講義
	9	血液の生理学①	血液の組成とその働きを説明できる。	講義
	10	血液の生理学②	止血・血液凝固の仕組みを説明できる。 血液型の違いを説明できる。	講義
	11	期末試験		試験
	12	解説＋循環の生理学①	循環の調節（刺激伝導系・心周期）を説明できる。	講義
２期	13	循環の生理学②	循環の調節（刺激伝導系・心周期）を説明できる。	講義
	14	循環の生理学③	血管の種類を説明できる。血圧の要因を説明できる。	講義
	15	循環の生理学④	血管の種類を説明できる。血圧の要因を説明できる。	講義
	16	呼吸の生理学①	呼吸の目的を理解し換気とガス交換を説明できる。	講義
	17	呼吸の生理学②	呼吸運動とその調節・異常呼吸を説明できる。	講義
	18	尿の生成とその排泄①	老廃物の処理の過程（尿生成）を説明できる。	講義
	19	尿の生成とその排泄②	腎臓における体液調節と排尿の仕組みを説明できる。	講義
	20	生殖①	男性生殖器・女性生殖器の働きを説明できる。	講義
	21	生殖②	男性生殖器・女性生殖器の働きを説明できる。	講義
	22	神経系の機能①	神経細胞の興奮と伝導を説明できる。	講義
	23	まとめ		試験
	24	期末試験＋神経系の機能②	シナプスの構造と特徴・神経伝達物質を説明できる。	講義
３期	25	神経系の機能③	シナプスの構造と特徴・神経伝達物質を説明できる。	講義
	26	神経系の機能④	脳神経・脊髄神経・自律神経の働きを説明できる。	講義
	27	神経系の機能⑤	脊髄・脳幹・小脳・大脳の働きを説明できる。	講義
	28	筋肉の機能①	骨格筋の働きと筋収縮の仕組みを説明できる。	講義
	29	筋肉の機能②	骨格筋の神経支配を説明できる。	講義
	30	運動の調整①	反射性調節を説明できる。	講義
	31	運動の調整②	反射性・随意性調節を説明できる。	講義
	32	感覚の生理学①	感覚の種類と情報を受容する仕組みを理解できる。	講義
	33	感覚の生理学②	特殊感覚（視覚・平衡聴覚）を説明できる。	講義
	34	感覚の生理学③	特殊感覚（視覚・平衡聴覚）を説明できる。	講義
	35	期末試験		試験
	36	解説＋全体まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

【科目】保健と医療Ⅰ【公衆衛生学】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	大三川　万起子 （おおみかわ　まきこ）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	公衆衛生学とは健康を維持増進させる学問である。理想的な健康像とはどういうことなのか、健康管理は個人や行政ではどのように考え、実践されているか、地球温暖化などの地球的規模の環境問題から空気・水・食品など私達を取り巻く生活環境に関する知識、職業がどのように健康に影響を与えるのか、生活習慣病の実態と予防はどうなっているのかといったことなどを学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	責任感を持ってあはき師としての業務を行うために、わが国の衛生状況の概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	１.「衛生学・公衆衛生学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「国民衛生の動向」　厚生統計協会 ２.「公衆衛生がみえる」　メディックメディア
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価60%以上と年度末試験の合格により履修とする。 【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野･保健医療福祉とあん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧、はり、きゆうの理念・保健と医療Ⅰの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 周囲の迷惑となる行為（私語・携帯電話など）は禁止であり、真剣に学ぶ意思のある学生の利益を最優先します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	衛生・公衆衛生の意義	衛生学・公衆衛生学について概説できる。	講義
	2	健康の概要、健康増進、疾病予防	WHO の健康の定義を言うことができる。１～３次予防を分類できる。 健康増進法や健康日本 21 について概説できる。	講義
	3	集団検診	集団検診について概説し、望ましい条件を述べられる。	講義
	4	衛生行政	産業保健・学校保健・地域保健の行政について概説できる。 保健所・市町村保健センターの業務を説明できる。	講義
	5	食品と栄養	国民栄養調査を基に栄養摂取状況等を概説できる。BMI を算出できる。	講義
	6	寄生虫	寄生虫の種類を挙げ、概説できる。	講義
	7	食中毒①	食中毒の原因を挙げ、概説できる。食中毒の現状を説明できる。	講義
	8	食中毒②		講義
	9	感染の定義、分類	院内感染、不顕性感染、垂直感染の意味を言うことができる。 性行為感染症や輸入感染症を挙げられる。	講義
	10	感染源	感染源を挙げ、概説できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	感染症法	感染症法・検疫法について説明できる。	講義
	14	感染経路	感染経路を挙げ、概説できる。	講義
	15	予防接種	ワクチンの種類を挙げ、概説できる。定期の予防接種について説明できる。	講義
	16	環境衛生①	空気の正常成分・異常成分を概説できる。 照明などの環境衛生について概説できる。	講義
	17	環境衛生②		講義
	18	地域の環境衛生①	わが国の上水道・下水道について方法や問題点を概説できる。	講義
	19	地域の環境衛生②	上水の水質基準・下水の水質基準を挙げられる。	講義
	20	廃棄物	リサイクル法を挙げ、概説できる。	講義
	21	物理的環境	気温、気流、輻射熱等を測定する機器を挙げられる。 電離放射線と非電離放射線を挙げられる。	講義
	22	化学的環境	環境を汚染する化学物質を挙げられる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	生物学的環境	生物学的環境要因を概説できる。し尿処理について概説できる。	講義
	26	室内環境の測定機器	室内環境の測定機器の使用方法がわかる。	演習
	27	公害	環境基本法による７大公害を挙げ、公害訴訟を概説できる。	講義
	28	産業保健	労働安全衛生法について説明できる。業務上の疾病を挙げ、概説できる。	講義
	29	精神保健・身体障害者等の保健	精神障害者保健福祉法に基づく入院の種類を挙げ、概説できる。 精神科における入院受療率及び外来受療率の高い疾患を挙げられる。	講義
	30	母子保健	母子保健法や母子保健の統計を概説できる。	講義
	31	成人・高齢者保健	特定健康診査について概説できる。 日本人の死因や年齢調整死亡率の高いガンについて説明できる。	講義
	32	学校保健	学校保健安全法について概説できる。学校感染症について説明できる。	講義
	33	疫学	疫学の種類について概説できる。 前向き研究と後向き研究の利点と欠点に説明できる。	講義
	34	国際保健	国際交流と国際協力の違いを説明できる。 わが国の政府開発援助(ODA)について概説できる。	講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野 基礎あん摩マッサージ学、基礎はり学、基礎きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】東洋医学Ⅰ【東洋医学概論Ⅰ】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	小林　純子 （こばやし　じゅんこ）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学の沿革について学ぶ。また東洋医学の基本的な考え方である陰陽学説や五行学説をもとに、精・気・血・津液の生理・病理・病証、六臓六腑の生理・病理・病証や経絡についても学ぶ。病気を引き起こす原因についても東洋医学的に学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	東洋医学の概念を診断、治療に結びつけられる様になるために、東洋医学における人体の構造機能の基礎知識の概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験、小テスト・レポートを総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験(年度末試験含む)：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・専門分野 基礎あん摩マッサージ学、基礎はり学、基礎きゅう学・東洋医学Ⅰの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 東洋医学の考え方による治療法を学ぶため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	東洋医学の歴史	1. 東洋医学の起源について説明できる。 2. 東洋医学の成立と発展について説明できる。 3. 日本における東洋医学の歴史と日中交流史について説明できる。	講義
	2	人と自然の統一性	1. 天人合一思想について説明できる。 2. 陰陽学説について説明できる。 3. 五行学説について説明できる。	講義
	3	陰陽学説の基本内容と運用	1. 陰陽の相互関係について説明できる。 2. 人体における陰陽について説明できる。 3. 病と陰陽について説明できる。 4. 診断治療における陰陽について説明できる。	講義
	4	五行学説の基本内容	1. 五行学説の基本内容について説明できる。	講義
	5	東洋医学における五行学説の運用①	1. 自然界の五行について説明できる。 2. 人体の五行について説明できる。	講義
	6	東洋医学における五行学説の運用②	1. 人体の五行について説明できる。 2. 飲食物の五行について説明できる。	講義
	7	精の生理と病理	1. 精の生理について説明できる。 2. 精の病理について説明できる。	講義
	8	気の生理と病理	1. 気の生理について説明できる。 2. 気の病理について説明できる。	講義
	9	血の生理と病理 津液の生理と病理	1. 血の生理について説明できる。 2. 血の病理について説明できる。 3. 津液の生理について説明できる。 4. 津液の病理について説明できる。	講義
	10	生理物質の相互関係 神の生理と病理 陰陽の生理と病理	1. 生理物質の相互関係について説明できる。 2. 神の生理について説明できる。 3. 神の病理について説明できる。 4. 陰陽の生理について説明できる。 5. 陰陽の病理について説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	蔵象学説、肝の生理と病理と病証	1. 蔵象学説について説明できる。 2. 肝の生理について説明できる。 3. 肝の病理と病証について説明できる。	講義
	14	胆の生理と病理と病証	1. 胆の生理について説明できる。 2. 胆の病理と病証について説明できる。 3. 肝と胆の相互関係について説明できる。	講義
	15	心の生理と病理と病証	1. 心の生理について説明できる。 2. 心の病理と病証について説明できる。	講義
	16	小腸の生理と病理と病証	1. 小腸の生理について説明できる。 2. 小腸の病理と病証について説明できる。 3. 心と小腸相互関係について説明できる。	講義
	17	脾の生理と病理と病証	1. 脾の生理について説明できる。 2. 脾の病理と病証について説明できる。	講義
	18	胃の生理と病理と病証	1. 胃の生理について説明できる。 2. 胃の病理と病証について説明できる。 3. 脾と胃の相互関係について説明できる。	講義
	19	肺の生理と病理と病証	1. 肺の生理について説明できる。 2. 肺の病理と病証について説明できる。	講義
	20	大腸の生理と病理と病証	1. 大腸の生理について説明できる。 2. 大腸の病理と病証について説明できる。 3. 肺と大腸の相互関係について説明できる。	講義
	21	腎の生理と病理と病証	1. 腎の生理について説明できる。 2. 腎の病理と病証について説明できる。	講義
	22	膀胱の生理と病理と病証 三焦の生理	1. 膀胱の生理について説明できる。 2. 膀胱の病理と病証について説明できる。 3. 腎と膀胱の相互関係について説明できる。 4. 腎と関係のある奇恒の腑について説明できる。 5. 三焦の生理ついて説明できる。	講義

	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	五臓の相互関係①	1. 心・脾・肝の相互関係について説明できる。 2. 心・肺・脾の相互関係について説明できる。 3. 肺・脾・腎の相互関係について説明できる。	講義
	26	五臓の相互関係②	1. 脾・肝・腎の相互関係について説明できる。 2. 肺・脾・肝の相互関係について説明できる。 3. 心・脾・腎の相互関係について説明できる。	講義
	27	五臓の相互関係③ 六腑の協調関係	1. 六腑の協調関係の生理について説明できる。 2. 六腑の協調関係の病理について説明できる。	講義
	28	全身の気機	1. 五臓の関連領域の気機について説明できる。 2. 気機の相互関係について説明できる。	講義
	29	経絡の概念、経絡の機能 経絡の構成①	1. 経絡の概念について説明できる。 2. 経絡の機能について説明できる。	講義
	30	経絡の構成②	1. 経脈について説明できる。	講義
	31	外感病因	1. 外感病因について説明できる。	講義
	32	内傷病因	1. 内傷病因について説明できる。	講義
	33	病理産物とその他の要因	1. 病理産物とその他の要因について説明できる。	講義
	34	まとめ		講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　基礎あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧学、基礎はり学、基礎きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】東洋医学Ⅱ【経絡経穴概論Ⅰ】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	稲葉　千里 （いなば　ちさと）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	あはき師において臨床では経穴を取穴出来ることは必須である。体表解剖・取穴実習では実際の身体で正確に経穴を取穴していくことを学び、ここでは経脈の名称や流注、経穴の名前を順番通りに覚え、さらに経穴の部位を正確に覚えることによって、取穴するために必要な経絡経穴の知識を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	あはき臨床において正確に取穴を行うために、全身を流れている経絡、全身に存在する経穴の概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．WHO 経穴部位日本語公式版 ２．東洋医学概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを期末試験、小テストを総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)の試験で評価(年度末試験含む)：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験を60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・基礎あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧学、基礎はり学、基礎きゅう学・東洋医学Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 東洋医学を理解し治療を行うための最も基本となるものである為、積極的な学習姿勢が望まれます。経絡経穴の名称や部位をしっかり覚えないと国家試験合格や臨床に対応できません。覚えるのに時間のかかる教科なので毎日短時間でもいいのでコツコツ勉強していきましょう。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	経穴の概説　上肢の骨①	取穴法の概略を説明できる 上肢の骨（肩甲骨・上腕骨）の部位を概説できる。	講義
	2	上肢の骨②・下肢の骨①	上肢の骨（橈骨・尺骨・手部）の各部位を概説できる。 下肢の骨（寛骨）の部位を概説できる。	講義
	3	下肢の骨②	下肢の骨（大腿骨・脛骨・腓骨・足部）の部位を概説できる。	講義
	4	上肢の筋①	上肢帯・上腕の筋の名称を概説できる	講義
	5	上肢の筋②・下肢の筋①	前腕・下肢帯の筋の名称を概説できる	講義
	6	下肢の筋②	下肢の筋の名称を概説できる	講義
	7	脊柱の構造　背部の筋①	脊柱を構成する骨について概説できる。 背部の筋について概説できる。	講義
	8	背部の筋②　腹部の筋①	腹部の筋について概説できる。 頭蓋骨について概説できる	講義
	9	頭部の骨　頭頚部の筋	頭頚部の筋について概説できる	講義
	10	骨の連結　骨度法	全身の関節について概説できる。 骨度法・体表指標を概説できる。	講義
	11	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	12	試験解説　経脈・経穴の概論	期末試験の解説 正経十二経脈・奇経八脈経絡・経穴の種類について概説できる。	講義
２期	13	経脈の流注　督脈①	督脈の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	14	督脈②	督脈の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	15	任脈①	任脈の流注の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	16	任脈②　手の太陰肺経①	任脈と手の太陰肺経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	17	手の陽明大腸経①	手の陽明大腸経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	18	手の陽大腸経② 足の陽明胃経①	手の陽明大腸経・足の陽明胃経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	19	足の陽明胃経②	足の陽明胃経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	20	足の陽明胃経③ 足の太陰脾経①	足の太陰脾経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	21	足の太陰脾経②	足の陽明胃経・足の陽明胃経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	22	手の少陰心経① 手の太陽小腸経①	手の少陰心経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	23	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	24	試験解説　手の太陽小腸経②	手の太陽小腸経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
３期	25	手の太陽小腸経② 足の太陽膀胱経①	手の太陽小腸経・足の太陽膀胱経の流注と 所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	26	足の太陽膀胱経②	足の太陽膀胱経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	27	足の太陽膀胱経③ 足の少陰腎経①	足の太陽膀胱経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。 足の少陰腎経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる	講義
	28	足の少陰腎経②	足の少陰腎経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	29	手の厥陰心包経① 手の少陽三焦経①	手の厥陰心包経手の少陽三焦経の流注と 所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	30	手の少陽三焦経②	手の少陽三焦経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	31	足の少陽胆経①	足の少陽胆経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	32	足の少陽胆経②	足の少陽胆経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	33	足の少陽胆経③ 足の厥陰肝経①	足の少陽胆経・足の厥陰肝経の流注と 所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	34	足の厥陰肝経②	足の厥陰肝経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	35	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	36	試験の解説・解答・まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門分野 臨床あん摩マッサージ指圧学、臨床はり学、臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】あはき概論Ｉ【あはき概論】

【基本情報】

配当年次	１学年	担当教員	相田　典子 （あいだ　のりこ）	
単位数	１単位			
開講学期	１学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	担当講師が外部治療院や学校附属施術所での臨床経験を通じて、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう（以下、あはき）の施術で用いる手技や道具に関する事柄や衛生概念を理解し、系統的な「あん摩マッサージ指圧」「はり」「きゅう」の各施術をおこなうための基礎的理論を養う科目です。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	衛生的で安全なあはき臨床を行うために、あん摩マッサージ指圧・鍼・灸の基本知識、施術の意義、基本手技を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社 ２．あん摩マッサージ指圧理論　第３版　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験の成績：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験６０%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・臨床あん摩マッサージ指圧学臨床はり学臨床きゅう学・あはき概論Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、用語の理解に重点を置き、解説を行います。授業内容をメモするのはもちろん、授業をよく聴いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	1. 概論：鍼灸施術の意義、鍼灸治療の特徴（治療効果が期待される疾患・症状）	鍼灸施術の、意義・特徴を説明できる。 ＷＨＯ、ＮＩＨによる鍼灸施術の効果が期待される疾患・症状を挙げられる。 日本における健康保険適応疾患を挙げられる。	講義
	2	2. 鍼の基礎知識：用具・鍼と鍼管	鍼施術で用いる用具（毫鍼と鍼管）について説明できる。 古代九鍼について名称、分類を説明できる。	講義
	3	3. 刺鍼の方式と術式：刺鍼の方法、刺鍼の術式（刺鍼中の術式）	刺鍼の方式を説明できる。 刺鍼中の術式（17 種類）を挙げられ、それぞれ説明できる。	講義
	4	3. 刺鍼の方式と術式：刺鍼の術式（刺鍼中の術式）	刺鍼中の術式（17 種類）を挙げられ、それぞれ説明できる。	講義
	5	4. 特殊鍼法：小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、灸頭鍼、低周波通電療法、その他	特殊鍼法について、その種類を挙げられ、それぞれ説明できる。	講義
	6	5. 灸の基礎知識：灸の材料、艾の製造方法、線香	灸の材料について、説明できる。 灸の製造過程を理解し、説明できる。 線香について、材料やサイズを説明できる。	講義
	7	6. 灸術の種類：有痕灸、無痕灸	灸術の種類を説明できる。 有痕灸と無痕灸について、その違いとそれぞれの種類を説明できる。	講義
	8	7. 鍼灸の臨床応用：刺激量、感受性、鍼灸療法の適応症	鍼灸施術における、刺激量、感受性を説明できる。 鍼灸施術が適応となる場合や疾患（症状）を挙げられる。 鍼灸施術が不適応・禁忌となる場合や疾患（症状）を挙げられる。	講義
	9	8. リスク管理：リスク管理の基本、鍼療法の過誤と副作用	鍼灸施術のリスクを理解し、説明できる。 鍼施術の過誤と副作用について、説明できる。 灸施術の過誤と副作用について、説明できる。	講義
	10	8. リスク管理：消毒 9. あマ指の基本手技の種類	施術における感染症対策について、その種類と目的を理解し、説明・実践できる。 あん摩・指圧・マッサージそれぞれの基本手技の種類を説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門分野 臨床あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧学、臨床はり学、臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】あはき概論Ⅱ【衛生実習】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	足立　昌彦（実務経験あり） （　あだち　まさひこ　）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義・演習	12 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸臨床において衛生的操作に対する考え方について、古くは皮膚への侵襲が極めて少ないことを逆手に満足な衛生管理をされないままの臨床が一部行われていた。近年、感染予防に関する衛生管理はどの分野でも注目され実践されてきている。いわゆる“あはき法”に記されている鍼施術に対する消毒操作の義務に限らず、医療に携わる一員として医療における最低限度の感染防御は出来なければならないと考えられる。そこで、ここでは担当講師が担当講師が外部治療院や学校付属施術所での臨床経験をもとに、標準予防策に準ずる衛生管理と、鍼灸臨床において患者と施術者双方を守ることを主眼においた衛生的な知識と技術を教授し、それを学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	衛生的で安全な鍼灸臨床を実践するために、衛生管理と感染防御に関する知識と技能を身につける。

【担当教員から】

教科書	１.「衛生学・公衆衛生学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	適宜、提示します
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験と、授業態度を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．手洗い・手指消毒の実技(到達目標達成確認)試験：50% ２．衛生管理・消毒法の筆記(到達目標達成確認)試験(年度末試験含む)：50%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価60%以上と年度末試験の合格により履修とする。 【年度末試験対象科目・実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・臨床あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧学臨床はり学臨床きゅう学・あはき概論Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．授業回数により授業場所が異なる為、毎回確認をしてください。 ２．欠席、遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなくペアとなるクラスメイトにも迷惑をかけます。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には十分留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	医療における衛生管理とは 衛生上のリスク管理	医療における衛生管理の必要性が理解できる。 鍼灸臨床に関わる衛生上のリスクを理解し、リスク管理の方法が説明できる。	講義
	2	手洗い概説	手指衛生の歴史が理解できる。 手洗いの必要性について説明できる。 手洗いの種類が説明できる。 あはき師に必要な手洗いが説明できる。	講義
	3	手洗い実技演習①	衛生的手洗い（スクラブ法）が実践できる。	演習
	4	手洗い実技演習②	手指消毒（ラビング法）が実践できる。 患部消毒（スワブ法）が実践できる。	演習
	5	手洗い実技演習③	日常的手洗いによって洗い残りが発生しやすい箇所を説明できる。	演習
	6	消毒法について①	滅菌と消毒(殺菌)の違いを説明できる。 物理的消毒法の種類を説明できる。	講義
	7	消毒法について②	化学的消毒法の種類が説明できる。 種々の病原微生物に有効な消毒法が説明できる。	講義
	8	まとめ（手洗い実技演習）		演習
	9	実技(到達目標達成確認)試験	（スクラブ法・ラビング法・スワブ法）	試験
	10	まとめ（消毒法）		演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験	（消毒法）	試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野 臨床あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧学、臨床はり学、臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】あはき概論Ⅲ【東洋医学のエビデンス】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	古屋 英治（実務経験有り） （ふるや　えいじ）	
単位数	1 単位			
開講学期	3 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	担当講師の外部治療院や学校付属施術所での臨床研究経験を通じて、あはき師としてＥＢＭに基づく臨床を行うために、また、チーム医療の一翼を担うことが出来るようになるために、グループワークによるあはき研究を通じて、医療人としてのリテラシーと論理的思考（logical thinking）や批判的思考（critical thinking）について学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	１．医療人としてのリテラシーについて、あはき研究を通じて学習する。 ２．論理的思考（logical thinking)、批判的思考（critical thinking）を身に付け、医療人として、職業人としての態度を身に付ける。 ３．グループワークを通じてチームワークの重要性を感じ、卒後におけるチーム医療の視点を高める。

【担当教員から】

教科書	１．『リサーチ・クエッションの作り方』NPO 健康医療評価研究機構
参考書	１．『EBM の道具箱 第 2 版』中山書店 ２．『臨床研究の道標』NPO 健康医療評価研究機構 ３．『鍼灸臨床最新科学　メカニズムとエビデンス』医歯薬出版 ４．『体性-自律神経反射の生理学』丸善出版 ５．『やさしい自律神経生理学』中外医学社 ６．『論理トレーニング 101 題』産業図書 ７．『クリティカルシンキング 不思議現象篇』北大路書房
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかをレポートの内容にて評価する。 レポート：授業のテーマに沿って個人、もしくはグループにて演習を行わせて、その演習内容をレポートとして提出させる。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） レポート提出：１００%
履修の条件 留意点	レポート提出を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧学臨床はり学臨床きゅう学・あはき概論Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） ２年次の呉竹医学会での研究発表に繋がるテーマを探求するための授業ですので、クラス全員の連携が求められます。クラスメイトとコミュニケーションを積極的に取り、協調して授業に挑んでください。 テーマについては、学内選考を経て、学校協会や学会での発表にも発展させます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
３期	1	研究とは？臨床との関係性は？	臨床、症例報告、症例集積、観察研究、介入研究のステップと違いについてを理解して、臨床との関係性について説明できる。	講義
	2	臨床研究のＰＥＣＯとＰＩＣＯについて	臨床研究に必要なリテラシーや批判的思考について理解して、ＰＥＣＯとＰＩＣＯについて説明できる。	講義
	3	あいまいな疑問を考え、具体的な疑問にしてみる	ＰＥＣＯまたはＰＩＣＯを作ることができる（ＣＱからＲＱへ）。	演習
	4	疑問を揉んでみる（グループ分かれて小発表と意見交換）	客観的な意見の下、論理的、批判的に更にＲＱを考察してみる。また、グループワークを通じて、チームワークの重要性を認識できる。	演習
	5	研究デザインに求められる要件	実施可能性・切実な問題、測定可能、倫理的について検討できる。	演習
	6	論文検索法（先人に学ぶ）	自身の疑問に関する論文を検索して自身のデザインと比較して、分かっていることと分かっていないことを明確にすることができる。	演習
	7	測定方法	アウトカム（変数）の測定方法（尺度）について、各種質問票や評価表および学内にある計器（灸熱測定器･サーモグラフィ･深部体温計･基礎体温計など）を試用するなどして理解した上で検討できる。	演習
	8	疑問の構造化	先行研究、測定方法も加え、より具体的なＲＱを考察できる。	演習
	9	疑問の構造化	先行研究、測定方法も加え、より具体的なＲＱを考察できる。	演習
	10	あはき研究デザイン発表	各グループからの発表を行い、投票にて呉竹医学会で発表する研究デザイン案を決定できる。	演習
	11	呉竹医学会発表のあはき研究デザイン案の検討	呉竹医学会で発表する研究デザイン案をクラス全体で検討することができる。	演習
	12	クラス代表あはき研究デザイン発表	呉竹医学会で発表する研究デザインを決定し、クラス全体で再度検討することができる。	演習

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　鍼灸実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本はりきゅう実技Ｉ【基本はり実技】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	猪野　幸峰（実務経験あり） （いの　ゆきほ）	
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、はり施術における基本刺鍼手技を習得させることを目的とする。前期の前半では、①片手で鍼と鍼管を扱う片手挿管の習得、②押手および刺手の意義や実際の方法の習得、③管鍼法の手順の習得について刺鍼練習台を用いて行う。前期後半において、手指・施術野の衛生的な処理操作を行い自らの身体に刺鍼をさせ、どのような感覚が生じるのかを体験させることにより、痛みの発生を抑制した刺鍼法を習得させる。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	正確かつ衛生的で安全に刺鍼を行えるようになるために、基本的な操作や鍼の基礎知識、必要な衛生学的知識、施術者としての心構えを修得する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論；東洋療法学校協会編（医道の日本社） ２．はりきゅう実技〈実技編〉第 2 版；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第 2 版；尾崎明弘著（医歯薬出版株式会社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験と、授業態度を総合的に評価する。 授業態度：授業毎の身だしなみ等の配慮の可不可、ペアでの練習時の受け手評価シートによる客観評価によって算定される。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験の成績：90% 授業態度の成績：10%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験と授業態度の評価を合計して60%以上で履修とする。 【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・基本はりきゅう実技Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．技術習得ですので、毎日の反復練習を心掛けてください。 ２．少しずつレベルアップしていくためには毎回の授業内で確認が必要となるので、体調管理をしっかりと行い、欠席しないようにしてください。 ３．事故防止のため、指示された部位以外への刺鍼は禁止いたします。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	授業概要	鍼実技を進めるにあたっての心構えが理解できる。 鍼を扱うにあたってのリスク管理が理解できる。	実習
	2	刺鍼の基本手技（術式）の紹介	撚鍼法、打鍼法、管鍼法、接触鍼法について説明できる。	実習
	3	基本刺鍼練習（刺鍼練習台上での挿管法）	管鍼法の手順が説明できる。 片手挿管法を目視せずに行うことができる。 刺鍼練習台に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。 刺鍼するに当たって、姿勢正しく行うことができる。 鍼具を丁寧に取り扱うことができる。	実習
	4	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	5	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	6	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	7	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	8	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	9	中間実技(到達目標達成確認)試験	（片手挿管法、管鍼法）	試験
	10	基本刺鍼練習（衛生操作）	清潔な施術環境（ハウスキーピング：施術用ワゴン、ベッド、枕やタオル、床など）について、その手順とその意味を説明でき、実行できる。（以降共通） 施術前後の基本的な消毒の手順とその意味を説明でき、実行できる。（以降共通） 自分の下腿に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	11	基本刺鍼練習（自己下腿前脛部）		実習
	12	基本刺鍼練習（自己下腿前脛部）		実習
	13	基本刺鍼練習（自己下腿前脛部）		実習
	14	基本刺鍼練習（自己下腿内側面）		実習
	15	基本刺鍼練習（自己下腿内側面）		実習
	16	基本刺鍼練習（自己下腿内側面）		実習
	17	期末実技(到達目標達成確認)試験	（自己下腿への刺鍼）	試験
	18	試験フィードバック		実習
後期	19	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿後面）	受け手の姿勢や枕の位置に配慮する事ができる。（以降共通） 自身の刺鍼しやすい姿勢・立ち位置で施術を行うことができる。（以降共通） 下腿後面に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	20	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿後面）		実習
	21	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿前面）		実習
	22	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿前面）		実習
	23	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿前面）	下腿前面に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	24	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿内側面）		実習
	25	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿内側面）		実習
	26	中間実技(到達目標達成確認)試験	（対人刺鍼：腓腹筋部）	試験
	27	試験フィードバック		実習
	28	基本刺鍼練習（対人刺鍼：腰部）	腰部に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。 殿部に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	29	基本刺鍼練習（対人刺鍼：腰部）		実習
	30	基本刺鍼練習（対人刺鍼：腰殿部）		実習
	31	基本刺鍼練習（対人刺鍼：肩背部）	肩背部に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	32	基本刺鍼練習（対人刺鍼：肩背部）		実習
	33	基本刺鍼練習（対人刺鍼：肩背部）		試験
	34	基本刺鍼練習（対人刺鍼：腰部）	腰部に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	35	期末実技(到達目標達成確認)試験	（対人刺鍼：腰部）	試験
	36	試験フィードバック		実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　鍼灸実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本はりきゅう実技Ⅱ【基本きゅう実技】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	稲葉　千里（実務経験あり） （いなば　ちさと）	
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、きゅう施術における基本施灸手技を習得させることを目的とする。前期の前半では、刺鍼練習台や半竹筒を用いて、①モグサを捻り出す動作、②捻り出したモグサを切り取り施灸部位へ真っ直ぐ立つように置く動作、③艾炷が一定の大きさ（米粒大）に形成出来るようにさせ、④艾炷の作成速度を上げる訓練や艾炷の点火の仕方を習得させる。前期後半において、手指・施術野の衛生的な処理操作を行い自らの身体に施灸をさせ、どのような感覚が生じるのかを体験させることにより、熱痛の発生を抑制した施灸法を習得させる。後期からは、衛生的操作を含む半米粒大による対人施灸を修得させる。対人施灸の際には、医療過誤を引き起こすことがないよう施灸上の諸注意を理解し、過誤を未然に防ぐきゅう施術のスキルを身につけさせる。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	正確かつ衛生的で安全に施灸を行えるようになるために、基本的な操作や灸の基礎知識、必要な衛生学的知識、施術者としての心構えを修得する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論；東洋療法学校協会編（医道の日本社） ２．はりきゅう実技〈実技編〉第 2 版；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第 2 版；尾崎明弘著（医歯薬出版株式会社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験の成績：100%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験60%以上で履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・基本はりきゅう実技Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．対人施灸練習までは刺鍼練習台と竹を用いて施灸練習を行いますので、刺鍼練習台と竹を忘れないようにしてください。 ２．前期中間以降は自己下腿での施灸練習、後期からは対人による施灸練習となりますので、事前に指示される内容をしっかり把握してください。 ３．技術習得ですので、毎日の反復練習を心掛けてください。 ４．少しずつレベルアップしていくためには毎回の授業内で確認が必要となるので、体調管理をしっかりと行い、欠席しないようにしてください。 ５．事故防止のため、指示された部位以外への施灸は禁止いたします。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	授業概要	きゅう実技を進めるにあたっての心構えが理解できる。 きゅうを扱うに当たってのリスク管理が理解できる。	実習
	2	施灸の基本手技（術式）の紹介 艾炷の作製	有痕灸、無痕灸について概説できる。 艾炷作成の為の指の使い方が理解できる。	実習
	3･4	刺鍼練習台上での艾炷（米粒大）作成	艾炷作成の手順が説明できる。 米粒大の艾炷を作成することができる。 刺鍼練習台の上に艾炷をまっすぐに据えることができる。 竹の上に艾炷をまっすぐに据えることができる。	実習
	5	半竹筒上での艾炷（米粒大）作成		実習
	6～9	半竹筒上での艾炷への点火	線香の取り扱いが理解でき、安全に扱うことができる。 灰除法と固定法の違いが説明できる。 艾炷への点火が適切にできる。 灰の処理が適切にできる。	実習
	10	中間実技（到達目標達成確認）試験	（竹上への米粒大の作成、艾炷への点火）	試験
	11	試験フィードバック 半竹筒上での艾炷への点火		実習
	12～15	基本施灸練習（自己踵部内側面）	清潔な施術環境（ハウスキーピング：施術用ワゴン、ベッド、枕やタオル、床など）について、その手順とその意味を説明でき、実行できる。**（以降共通）** 施灸前後の基本的な消毒の手順とその意味を説明でき、実行できる。**（以降共通）** 自分の下腿に対して、米粒大による八分施灸が適切にできる。	実習
	16	期末実技（到達目標達成確認）試験	（自己踵部内側面への八分灸）	試験
	17	試験フィードバック 半竹筒上での艾炷への点火	半米粒大の艾炷を作成することができる。	実習
後期	18	半竹筒上での艾炷（半米粒大）作成	半米粒大の艾炷を作成することができる。 竹の上に艾炷（半米粒大）をまっすぐに据えることができる。	実習
	19･20	半竹筒上での艾炷（半米粒大）作成	受け手の姿勢や枕の位置に配慮する事ができる。**（以降共通）** 自身の刺鍼しやすい姿勢・立ち位置で施術を行うことができる。**（以降共通）** 女膝穴・失眠穴へ適切に施灸することができる。	実習
	21	確認試験	（竹上への半米粒大の作成、艾炷への点火）	試験
	22～26	基本施灸練習（対人踵部）	受け手の姿勢や枕の位置に配慮する事ができる。**（以降共通）** 自身の刺鍼しやすい姿勢・立ち位置で施術を行うことができる。**（以降共通）** 女膝穴・失眠穴へ適切に施灸することができる。	実習
	27	確認試験	（対人施灸：女膝穴・失眠穴）	試験
	28･29	基本施灸練習（対人：下腿前面）	下腿前面に対して適切に施灸することができる。	実習
	30･31	基本施灸練習（対人：前腕外側）	前腕外側に対して適切に施灸することができる。	実習
	32	まとめ	（下腿前面・前腕外側への施灸）	実習
	33	期末実技（到達目標達成確認）試験	（対人施灸：足三里穴・手三里穴）	試験
	34	試験フィードバック		実習
	35･36	基本施灸練習（対人：下腿後面）	下腿後面に対して適切に施灸することができる。	実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　鍼灸実技

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本はりきゅう実技Ⅲ【体表解剖・取穴実習】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	稲葉　千里 （実務経験あり） （いなば　ちさと）	川畑　充伸 （実務経験あり） （かわはた　みつのぶ）
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、鍼灸施術において臨床上必要不可欠な取穴を習得させることを目的とする。経絡経穴概論では、経脈の名称や流注、経穴の名前を順番通りに覚え、さらに経穴の部位を正確に覚えるが、ここでは体表解剖を学ぶことによって取穴するために必要な骨、筋肉、血管などを実際の身体で触れ位置関係を理解し、各経脈の流注の場所や経穴の部位を正確に取穴することを学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸臨床の場で十分活躍できるようになるために、体表から触れることのできる骨、筋肉、動脈拍動部の正確な触れ方と、経絡の流注及び経穴の取穴方法の実際を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社） ２．解剖学　第２版；東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１．運動療法のための機能解剖学的触診技術　上肢；(株式会社メジカルビュー社) ２．運動療法のための機能解剖学的触診技術　下肢・体幹；(株式会社メジカルビュー社) ３．ボディ・ナビゲーション；(医道の日本社) ４．よくわかる筋の機能解剖　第２版；(メディカル・サイエンス・インターナショナル) ５．触診解剖アトラス　頚部・体幹・上肢；(株式会社メジカルビュー)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験と授業態度を総合的に評価する。 授業態度：授業毎の身だしなみ等の配慮の可不可、ペアでの練習時の受け手評価シートによる客観評価によって算定される。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験の成績：90% 授業態度の成績：10%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験、授業態度の評価を合計して60%以上で履修とする。 【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・基本はりきゅう実技Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．鍼灸施術の基本である取穴の実際を学習する科目です。体表部の観察や触診の要領と指先の触知力を高めるように心がけるとともに実習工技の内容を十分理解し、取穴の実際について指先と身体で覚えるように心がけて下さい。また、人体構造機能、経絡経穴概論とも密接な関連があるので、既習科目の理解を深めておくことが大切です。 ２．欠席、遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなくペアとなるクラスメイトにも迷惑をかけます。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には十分留意して下さい。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	体表解剖　概要	体表解剖とは何か概説できる。	実習
	2･3	上肢　体表解剖	上肢前面の筋肉の触診することができる。	実習
	4	上肢　体表解剖	上肢前面の筋肉の触診することができる。	実習
	5	上肢　流注　取穴	上肢にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 上肢の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	6	上肢　流注　取穴	上肢にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 上肢の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	7	上肢　流注　取穴	上肢にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 上肢の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	8～10	下腿後面　体表解剖	膝窩動脈の拍動を確認できる。 下腿後面の筋肉を触診することができる。	実習
	11～13	下腿後面 流注 取穴	下腿後面にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 下腿後面の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	14･15	下腿前面　体表解剖	下腿前面の骨の触診することができる。	実習
	16	下腿前面　体表解剖	下腿前面の筋肉の触診することができる。	実習
	17	期末実技(到達目標達成確認)試験	（四肢の骨、筋肉、動脈拍動部の触知と取穴）	試験
	18	試験フィードバック		実習
後期	19	大腿前面 流注 取穴	大腿前面にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 大腿前面の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	20	腰殿部　体表解剖	腰殿部の骨、筋肉を説明できる。 腰殿部の筋肉を触診することができる。	実習
	21～23	腰殿部 流注 取穴	腰殿部にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 腰殿部の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	24	腰殿部 流注 取穴	腰殿部にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 腰殿部の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	25･26	腰殿部 流注 取穴	腰殿部にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 腰殿部の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	27･28	上背部　体表解剖	上背部の骨、筋肉を説明できる。 上背部の筋肉を触診することができる。	実習
	29･30	上肢帯　体表解剖	上肢の骨、筋肉、動脈を説明できる。 上肢の筋肉、動脈拍動部を触診することができる。	実習
	31･32	上背部 流注 取穴	上背部にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 上背部の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	33･34	上肢帯 流注 取穴	上肢にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 上肢の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	35	期末実技(到達目標達成確認)試験	（体幹部の骨、筋肉の触知と取穴）	試験
	36	試験フィードバック		実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　あマ指実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本手技実技Ⅰ【基本あん摩実技】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	田中　文枝（実務経験あり） （たなか　ふみえ）	
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院での臨床経験を活かして、按摩の基本手技を学び、人体各部位に合う手技を習得させることを目的とする。患者の体位に応じて安全かつ有効な施術方法を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	安全かつ有効な按摩の手技を行うために、人体各部位に合う基本的手技を習得する。

【担当教員から】

教科書	１．按摩・マッサージ・指圧―実技編―；学校法人呉竹学園編
参考書	１．あん摩マッサージ指圧実技；東洋療法学校協会編, 医道の日本社 ２．あん摩マッサージ指圧理論；東洋療法学校協会編, 医道の日本社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、各期実技試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） ・実技(到達目標達成確認)試験の成績：100%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験の 60%以上で履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・基本手技実技Ⅰの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．按摩の手技の基本を理解し、繰り返し反復練習する。 ２．施術部位の十分な理解をする。 ３．予習→授業→復習のサイクルを守る。 ４．授業では、実技の前に講義とデモンストレーションがあるのでノートをとりながら、話をよく聞く。 ５．解剖学、経絡経穴概論、東洋医学概論、あん摩マッサージ指圧理論の科目とも密接な関連があるので、既習科目の理解を深めておく。 ６．授業は、講義・実習が組み合わされ、実習は 2 人一組にて行われる。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなく、組み合わせの相手にも迷惑をかけることになる。体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意する。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	施術上の注意、按摩の基本 基本手技①：軽擦法	1. 施術者の身だしなみ、白衣の着用に配慮できる。 2. 按摩の意義を説明できる。 3. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 4. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 5. 軽擦法（手掌、指腹、手根、指端）ができる。	実習
	2	基本手技②：揉捏法、圧迫法、振せん法	1. 揉捏法（把握、母指、二指、四指、手掌、手根）ができる。 2. 圧迫法（母指、手掌、手根、四指）ができる。 3. 振せん法（手掌、指頭、牽引）ができる。	実習
	3	基本手技③：叩打法、曲手	1. 叩打（拳打、切打、合掌打、拍打）ができる。 2. 曲手（車手、突手、横手、袋打、挫手）ができる。	実習
	4	座位按摩法：肩背部の施術①	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で肩背部の施術ができる。	実習
	5	肩背部の施術②		実習
	6	肩背部の施術③		実習
	7	上肢の施術①	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で上肢の施術ができる。	実習
	8	上肢の施術②		実習
	9	中間実技(到達目標達成確認)試験	肩背部の按摩、叩打	試験
	10	試験フィードバック		実習
	11	頸部の按摩①	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で頸部の施術ができる。	実習
	12	頸部の按摩②		実習
	13	頭部の按摩	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で頭部の施術ができる。	実習
	14	側臥位按摩法：肩背腰部の按摩①	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる 3. 安全かつ適切な圧で肩背腰部の施術ができる。	実習
	15	肩背腰部の按摩②		実習
	16	頸部の按摩	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で頸部の施術ができる。	実習
	17	期末実技(到達目標達成確認)試験	頸部の按摩、叩打、曲手	試験
	18	試験フィードバック		実習
後期	19	上肢の按摩①	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で上肢の施術ができる。	実習
	20	上肢の按摩②		実習
	21	殿部の按摩	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で殿部の施術ができる。	実習
	22	下肢の按摩①	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で下肢の施術ができる。	実習
	23	下肢の按摩②		実習
	24	背臥位按摩法：下肢の按摩①		実習
	25	下肢の按摩②		実習
後期	26	中間実技(到達目標達成確認)試験	下肢の按摩、叩打、曲手	試験

	27	試験フィードバック		実習
	28	腹部の按摩	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で腹部の施術ができる。	実習
	29	腹臥位按摩法： 肩上・肩背及び腰部の按摩①	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で肩上・肩背及び腰部の施術ができる。	実習
	30	肩上・肩背及び腰部の按摩②		実習
	31	全身の按摩①	1. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 2. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 3. 安全かつ適切な圧で全身の施術ができる。 4. 指定された時間で施術ができる。	実習
	32	全身の按摩②		実習
	33	全身の按摩③		実習
	34	全身の按摩④		実習
	35	期末実技(到達目標達成確認)試験	全身の按摩、叩打、曲手	試験
	36	試験フィードバック		実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　あマ指実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本手技実技Ⅱ【基本指圧実技】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	島田　和樹（実務経験有り） （しまだ　かずき）	
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	指圧施術において、基本手技、人体各部位毎の押圧操作と運動操作、患者の体位に応じた安全かつ有効な施術方法と自身の体に負担を掛けない姿勢を会得する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	安全かつ有効な指圧の手技を行うために、人体各部位に合う基本的手技を習得する。

【担当教員から】

教科書	１．指圧・マッサージ・指圧―実技編―；学校法人呉竹学園編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、各期実技試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験：１００%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験の評価が 60%以上で履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・基本手技実技Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．基本手技を理解・体得し、自身の体に負担を掛けない施術方法を会得することが大切です。 ２．技術はすぐには身につかないので、予習と復習を必ずおこないましょう。 ３．デモンストレーション等、説明をしっかりと聞き、無駄の無いよう、限られた時間内で有効に練習しましょう。 ４．授業は2人一組でおこなわれるので、欠席すると自身の修練が足りなくなります。また、相手にも迷惑が掛かります。体調管理をしっかりとおこない、欠席しない身体を作りましょう。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	按マ指の意義：意義と沿革、按マ指の違い 施術上の注意、指圧の基本、体表からのランドマークの確認	あん摩・指圧・マッサージそれぞれの意義と沿革が概説できる。 押圧操作の基本操作の種類の説明ができる。 指圧に必要な部位とその名称を説明ができる。	実習
	2	基本圧法：押圧操作の三原則	基本圧法のうち、押圧操作の三原則が言える。	実習
	3	基本圧法：通常圧法、緩圧法、持続圧法	基本圧法のうち、通常圧法、緩圧法、持続圧法を説明できる。	実習
	4	基本圧法：衝圧法、振動圧法、吸圧法	基本圧法のうち、衝圧法、振動圧法、吸圧法を説明できる。	実習
	5	腹臥位指圧 背部の指圧１	背部の指圧を２回に分け、手順の前半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	6	背部の指圧２	手順の後半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	7	殿部の指圧１	殿部の指圧の手順を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、患者に不愉快な思いをさせずに押圧操作をできる。	実習
	8	下肢の指圧１	下肢の指圧を３回に分け、手順の前半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、患者に不愉快な思いをさせずに押圧操作をできる。	実習
	9	中間実技（到達目標達成確認）試験	指定された部位に対する施術をおこない、身体に負担をかけずに適切に押せているか、確認する。	試験
	10	試験フィードバック	試験の結果を個別に伝え、今後の課題として練習に生かすことができる。	実習
	11	下肢の指圧２	下肢の指圧を３回に分け、手順の中盤を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、患者に不愉快な思いをさせずに押圧操作をできる。	実習
	12	下肢の指圧３	下肢の指圧を３回に分け、手順の後半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、患者に不愉快な思いをさせずに押圧操作をできる。	実習
	13	肩上部・肩背部の指圧	肩上部・肩背部の指圧の手順を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	14	背臥位指圧：下肢の指圧１	下肢の指圧を３回に分け、手順の前半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、患者に不愉快な思いをさせずに押圧操作をできる。	実習
	15	下肢の指圧２	下肢の指圧を３回に分け、手順の中盤を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、患者に不愉快な思いをさせずに押圧操作をできる。	実習
	16	下肢の指圧３	下肢の指圧を３回に分け、手順の後半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	17	期末実技（到達目標達成確認）試験	指定された部位に対する施術をおこない、身体に負担をかけずに適切に押せているか、確認する。	実習
	18	試験フィードバック	試験の結果を個別に伝え、今後の課題として練習に生かすことができる。	試験
後期	19	背臥位指圧：上肢の指圧１	上肢の指圧を２回に分け、手順の前半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	20	上肢の指圧２	上肢の指圧を２回に分け、手順の後半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	21	頭部・顔面部の指圧	頭部・顔面部の指圧の手順を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	22	胸部の指圧	胸部の指圧の手順を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、患者に不愉快な思いをさせずに押圧操作をできる。	実習
	23	腹部の指圧	腹部の指圧の手順を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、患者に不愉快な思いをさせずに押圧操作をできる。	実習
	24	側臥位指圧：頭部・頸部・背部の指圧１	頭部・頸部・背部の指圧２回に分け、手順の前半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	25	頭部・頸部・背部の指圧２	頭部・頸部・背部の指圧２回に分け、手順の後半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をでき	実習

			る。	
	26	中間実技(到達目標達成確認)試験	指定された部位に対する施術をおこない、身体に負担をかけずに適切に押せているか、確認する。	試験
	27	試験フィードバック	試験の結果を個別に伝え、今後の課題として練習に生かすことができる。	実習
	28	側臥位指圧：殿部・下肢の指圧	殿部・下肢の指圧を２回に分け、手順の前半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	29	殿部・下肢の指圧	殿部・下肢の指圧を２回に分け、手順の後半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	30	座位指圧 ： 頸部・肩上部の指圧	頸部・肩上部の指圧２回に分け、手順の前半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	31	頚部・肩上部の指圧	頚部・肩上部の指圧２回に分け、手順の後半を練習し、自身の体や患者の体に負担をかけずに、押圧操作をできる。	実習
	32	総復習：腹臥位	腹臥位の施術について、一連の手順を教科書をみずにおこなえる。	実習
	33	総復習：背臥位	背臥位の施術について、一連の手順を教科書をみずにおこなえる。	試験
	34	総復習：側臥位	側臥位の施術について、一連の手順を教科書をみずにおこなえる。	実習
	35	期末実技(到達目標達成確認)試験	指定された部位に対する施術をおこない、身体に負担をかけずに適切に押せているか、確認する。	試験
	36	試験フィードバック	試験の結果を個別に伝え、今後の課題として練習に生かすことができる。	実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　あマ指実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本手技実技Ⅲ【基本マッサージ実技】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	楽野木　笑巳果（実務経験有り） （らくのぎ　えみか）	
単位数	2 単位			
開講学期	前･後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	マッサージ施術において、基本手技、患者の体位に応じた安全かつ有効な施術方法と自身の体に負担を掛けない姿勢を会得する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	安全かつ有効なマッサージの手技を行うために、人体各部位に合う基本的手技を習得する。

【担当教員から】

教科書	１．按摩・マッサージ・指圧－実技編－：学校法人呉竹学園編 ２．あん摩マッサージ指圧実技：学校協会編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、実技試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験：１００%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験の評価が60%以上で履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・基本手技実技Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） マッサージの手技の基本を理解したうえで、体得することが大切です。施術部位の十分な理解をしてください。授業では、実技の前に講義とデモンストレーションがあるのでノートをとりながら話をよく聞いて、予習→授業→復習のサイクルを守ってください。さらに授業は、講義・実習が組み合わされ、実習は２人一組にて行われますので、欠席遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなく、組み合わせの相手にも迷惑をかけることになるので注意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	手技・施術部位の確認	手技の内容、施術部位について説明できる。	実習
	2	軽擦法・揉捏法	姿勢・体重移動・密着の基本動作を行うことができる。	実習
	3	上肢のマッサージ（手・手指）	手部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	4	手関節のマッサージ	手関節部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	5	上肢のマッサージ（前腕）	前腕部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	6	上肢のマッサージ（前腕）		実習
	7	肘関節のマッサージ	肘関節部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	8	上肢のマッサージ（上腕）	上腕部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	9	中間実技(到達目標達成確認)試験	（前腕部のマッサージ）	試験
	10	上肢のマッサージ（上腕）	上腕部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	11	肩関節のマッサージ	肩関節部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	12	下肢のマッサージ（足部）	足部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	13	下肢のマッサージ（足部）		実習
	14	足関節のマッサージ	足関節部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	15	足関節のマッサージ		実習
	16	下肢のマッサージ（下腿）	下腿部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	17	期末実技(到達目標達成確認)試験	（足関節部のマッサージ）	試験
	18	試験フィードバック		実習
後期	19	下肢のマッサージ（下腿）	下腿部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	20	膝関節のマッサージ	膝関節部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	21	下肢のマッサージ（大腿）	大腿部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	22	下肢のマッサージ（大腿）		実習
	23	股関節のマッサージ	股関節部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	24	下肢のマッサージ（殿部）	殿部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	25	背部・腰部のマッサージ	背部・腰部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	26	中間実技(到達目標達成確認)試験	（大腿部のマッサージ）	試験
	27	試験フィードバック		実習
	28	背部・腰部のマッサージ	背部・腰部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	29	頚部のマッサージ	頚部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	30	頭部・顔面のマッサージ	頭部・顔面部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	31	胸部のマッサージ	胸部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	32	腹部のマッサージ	腹部のマッサージを安全かつ有効に行うことができる。	実習
	33	腹部のマッサージ		試験
	34	乳房マッサージ	乳房マッサージの目的を理解し、有効に行うことができる。	実習
	35	期末実技(到達目標達成確認)試験	（腹部のマッサージ）	試験
	36	試験フィードバック		実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　臨床実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床実習Ⅰ【早期臨床体験実習Ⅰ】

【基本情報】

配当年次	1 学年	主担当教員	三浦　洋（実務経験あり） （みうら　ひろし）	
単位数	1 単位			
開講学期	通期	授業形態･回数	臨床実習	45 時間

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、はりきゅう施術における基本的臨床能力を想起させるために付属施術所内にて臨床実習を行う。 主に附属はりきゅう施術所にて行う。はり・きゅう施術を実際に受けることで、これからどのような行為について学んでいくのかを認識する。また、教員、施術所スタッフの臨床を見学することで自らこれから何を学習するべきなのかの理解を深める。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	はり師・きゅう師を目指す学生としての自覚を深めるために、鍼灸医学を学ぶことへの関心を高める。また、優れた医療人になるため、学生として備えておくべき基本的態度・姿勢や基本的臨床技能を理解し、修得する。

【担当教員から】

教科書	―
参考書	―
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかをポートフォリオ、実習班担当者の評価、ｽﾓｰﾙｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ（SGD）での発言・態度をルーブリック評価で総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．ポートフォリオの提出：30% ２．実習班担当者の評価：50% ３．SGD での発言・態度：20%
履修の条件 留意点	上記の成績評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床実習・臨床実習Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全出席が必要です。欠席、遅刻や早退などは認められないので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．附属施術所での行動内容の確認や身だしなみのチェックをグループ内で行うこと。 ２．実習終了後は、施術所内での行動等を各自並びにグループとして十分に振り返り、ポートフォリオの作成を行い、後日指示に従ってポートフォリオの提出を行うこと。 ３．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・臨床実習責任者へ連絡すること。また、附属施術所における実習の場合には同時に附属施術所へも連絡を入れること。 ４．授業の初回と各ガイダンスには必ず参加し、指示に従うこと。 ５．重要掲示板または教室に掲示する「早期臨床体験実習Ⅰ　臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に出席すること。
オフィスアワー	適宜３F 教員室を訪ねること。

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1. 施術所における見学実習 1) 小グループによるローテーションとする。 2) 指導教員の下で、施術所一般患者の施術を観察する。また、施術前後の付帯業務の補助、状況によっては施術補助を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 2. クルズス 1) 観察・施術補助した症例あるいは与えられた課題疾患について調べる。 2) 施術担当者または指導教員と症例あるいは課題について討論して意見交換を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 3. ＳＧＤ 1) 上記 1､2 で提出したポートフォリオから指定された課題についてＫＪ法により各自抽出し、グループ内で共通事項をまとめる。 2) プレゼン資料を作成する。 3) 資料(配布またはパワーポイント)にもとづいて発表をする。 4) 討論して意見交換を行う。 4. トータルレビュー(ＴＲ) 1) 上記 3 の内容の共有事項を実習担当者から指導を受ける。 2) 討論して意見交換を行う。	・医療人にふさわしい身だしなみを示すことができる。 ・患者、施術所スタッフ、研修生、指導者に対して、適切に挨拶と自己紹介ができる。 ・施術所スタッフ、研修生、指導者の指示に従い適切に行動できる。 ・患者として術者から感じたことをレポート記録することができる。 ・付属施術所内での態度について事前に自己目標を立て、自己課題に気づきレポートを記録することができる。 ・実習ごとの自己課題を見出し、課題解決の目標と方法を探る行動ができる。	臨床実習又は演習

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ｉ【医療コミュニケーション学】

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	相田　典子 （あいだ　のりこ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義、演習	24 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸臨床の現場において、医療の専門性を発揮し、患者に適切な医療を行うためには、患者とのコミュニケーションは欠かすことができない。また、他の医療従事者と連携をして、患者の施術にあたることが求められるが、コミュニケーションは連携のための重要な手段の１つである。授業では、患者や医療従事者とコミュニケーションをとるために必要なことを学んでいく。具体的には、心理学を基礎とするコミュニケーションの基本的な考え方や技法を中心に取り上げる。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	１．日常の人間関係を良好に保つ能力を身につけるために、自己理解を深め、コミュニケーションの知識と技法を修得する。 ２．医療の現場において様々な患者に接し対応するためには、患者の心理状態を理解し、思いやりのある心と態度が必要である。患者との様々な場面を想定し、患者への対応に必要なコミュニケーション技法の習得を目指す。

【担当教員から】

教科書	
参考書	「はじめての医療面接・コミュニケーション技法とその学び方」「鍼灸臨床における医療面接」「医療者のためのコミュニケーション入門」「コミュニケーション学入門」「コミュニケーション実践学」「対人スキルズ・トレーニング」「自分探しの心理学」「死ぬ瞬間」「医療面接技法とコミュニケーションのとり方」「聞く技術答えは患者の中にある」「コミュニケーションスキルトレーニング」「仲間とみがくコミュニケーション・センス」「コミュニケーション技法」「コミュニケーション学入門」「研修ゲームハンドブック」
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、提出物、プレゼンテーションの内容、授業に対する参加意欲等をルーブリック評価で総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 提出物：40% プレゼンテーションの内容：30% 授業に対する参加意欲：30%
履修の条件 留意点	提出物、プレゼンテーションの内容、授業に対する参加意欲を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野　総合領域・臨床総合講座Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．全員参加型の授業にしたいので、何より積極性が必要になります。 ２．良好なコミュニケーションは医療の現場だけではなく、日常生活をより豊かなものにすることが出来ますので、充分な理解を深めて下さい。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2 期	1	医療コミュニケーション①	KJ 法を用いて鍼灸師に必要な資質を理解することができる。	講義・演習
	2	医療コミュニケーション②	コミュニケーションの定義を理解することができる。	講義・演習
	3	アクティブラーニング①	アクティブラーニングを通して自ら学ぶことを理解することができる。	演習
	4	アクティブラーニング②		演習
	5	アクティブラーニング③		演習
	6	アクティブラーニング④		演習
	7	アクティブラーニング⑤発表	パワーポイントを用いてのプレゼンテーションについて理解することができる。	演習
	8	アクティブラーニング⑥発表		演習
	9	医療コミュニケーション③	伝達図形のゲームを通して one way と two way コミュニケーションの違いを理解することができる。	講義・演習
	10	コミュニケーションスキル①	エクササイズを通して自分を理解することとジョハリの窓を理解することができる。	講義・演習
	11	コミュニケーションスキル②	医療面接における傾聴を理解することができる。	講義・演習
	12	コミュニケーションスキル③	医療面接におけるうなずき、あいづちの技法を理解することができる。	講義・演習
3 期	13	コミュニケーションスキル④	医療面接における繰り返しの技法を理解することができる。	講義・演習
	14	スピーチ①（頑張った証）	パブリックスピーキングを理解することができる。	演習
	15	スピーチ②（頑張った証）		演習
	16	医療面接①	ロールプレイを通して医療面接の技法を理解することができる。	講義・演習
	17	医療面接②		講義・演習
	18	医療面接③		講義・演習
	19			講義・演習
	20			講義・演習
	21			講義・演習
	22			講義・演習
	23			演習
	24			講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸科・鍼灸マッサージ科
【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅱ【総合基礎Ⅱ（医用英語Ⅰ）】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	平良　達夫 （たいら　たつお）	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	初歩的なオーラル英語から始めて、教科書の内容を材料に外国人の患者とコミュニケーションがとれるようリスニング、スピーキングの訓練をする。 時折英語の文献にも触れ、高度な英文に接する機会も維持する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	医療の現場でも英語を使って仕事ができることを目指す。また、医療に関する最新の新聞記事などを独力で読める力を伸ばす。

【担当教員から】

教科書	
参考書	
成績評価基準	定期試験：シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験成績ーーーー９５% （課題等を行わなかった場合は１００%） 課題等ーーーーーーーーーーーーーーーー５%（課題等を行った場合の加算割合）
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して６０%以上で履修とする。 この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・医用英語Ⅰの単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０%以上の出席が必要です。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容 知っている英単語でも、ナチュラルスピードで話されると耳でキャッチできないことが多い。そのため、普段からできるだけ英語を聞いて理解する訓練をしてほしい。 また、授業で扱う医療に関する英語の語彙はすべて聞き取れてさらに使えるよう練習してほしい。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	英語の４技能の基本的な確認、演習　１	オーラル英語を聞き取る上での基本を学び、専門に関わる英語を聞いて理解し、さらには使えることを目指す。また、専門に関わる語彙、表現を読んで理解できるようにする。	講義
	2	英語の４技能の基本的な確認、演習　２		講義
	3	英語の４技能の基本的な確認、演習　３		講義
	4	英語の４技能の基本的な確認、演習　４		講義
	5	各部の名称から始まる施術の前段階の英語　１		講義
	6	各部の名称から始まる施術の前段階の英語　２		講義
	7	各部の名称から始まる施術の前段階の英語　３		講義
	8	各部の名称から始まる施術の前段階の英語　４		講義
	9	具体的な症状についての英語による対応　１		講義
	10	具体的な症状についての英語による対応　２		講義
	11	具体的な症状についての英語による対応　３		講義
	12	具体的な症状についての英語による対応　４		講義
	13	具体的な症状についての英語による対応　５		講義
	14	期末（到達目標達成確認）試験		講義/試験
	15	前期試験の解説、復習		講義

2021 年度　Ｉ部鍼灸科・鍼灸マッサージ科
【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅱ【総合基礎Ⅱ（医用英語Ⅱ）】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	平良　達夫 （たいら　たつお）	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	教科書の内容を材料に外国人の患者とコミュニケーションがとれるようリスニング、スピーキングの訓練をする。 時折英語の文献にも触れ、高度な英文に接する機会も維持する。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	医療の現場でも英語を使って仕事ができることを目指す。また、医療に関する最新の新聞記事などを独力で読める力を伸ばす。

【担当教員から】

教科書	
参考書	
成績評価基準	定期試験:シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験成績ーーーー９５％ （課題等を行わなかった場合は１００％） 課題等ーーーーーーーーーーーーーーーー５％(課題等を行った場合の加算割合)
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して６０％以上で履修とする。 この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・医用英語Ⅱの単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０％以上の出席が必要です。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容 知っている英単語でも、ナチュラルスピードで話されると耳でキャッチできないことが多い。そのため、普段からできるだけ英語を聞いて理解する訓練をしてほしい。 また、授業で扱う医療に関する英語の語彙はすべて聞き取れてさらに使えるよう練習してほしい。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	具体的な症状についてのオーラル演習　１	専門に関わる英語を聞いて理解し、さらには使えることを目指す。また、専門に関わる語彙、表現を読んで理解できるようにする。	講義
	2	具体的な症状についてのオーラル演習　２		講義
	3	具体的な症状についてのオーラル演習　３		講義
	4	具体的な症状についてのオーラル演習　４		講義
	5	具体的な症状についてのオーラル演習　５		講義
	6	具体的な症状についてのオーラル演習　６		講義
	7	具体的な症状についてのオーラル演習　７		講義
	8	具体的な症状についてのオーラル演習　８		講義
	9	具体的な症状についてのオーラル演習　９		講義
	10	具体的な症状についてのオーラル演習　１０		講義
	11	具体的な症状についてのオーラル演習　１１		講義
	12	具体的な症状についてのオーラル演習　１２		講義
	13	具体的な症状についてのオーラル演習　１３		講義
	14	期末（到達目標達成確認）試験		講義/試験
	15	後期試験の解説、復習		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸科・鍼灸マッサージ科
【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅱ【総合基礎Ⅱ（化学Ⅰ）】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	根岸　秀幸 （ねぎし　ひでゆき）	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	元素名と元素記号、さらに化学式を学び、物質の構造、状態変化・化学変化と物理変化の相違を説明できるように展開していく。また、生理学に結びつける事を念頭におき、酸性・アルカリ性と pH や無機化合物と有機化合物の相違も講義に取り入れて行く。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	まず、物質の性質やいろいろな反応などについての基礎的な化学知識を身につける。そして、専門基礎分野並びに専門分野へ繋がる幅広い知識を修得する。

【担当教員から】

教科書	
参考書	改訂版 視覚でとらえる「フォトサイエンス 化学図録」 数研出版編集部 編著
成績評価基準	定期試験：シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。 課題（レポート・小テスト等）：レポートであればルーブリック評価を用い、小テストは授業時間内に実施し、各定期試験に反映させることがある。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合(%)） 期末（到達目標達成確認）試験：１００％ ※課題等がある学期には評価に加算する。
履修の条件 留意点	期末（到達目標達成確認）試験、課題の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・化学の単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０%以上の出席が必要です。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業後は復習の習慣をつけることが大事であります。予習→授業→復習のサイクルを守るように。分らない事をそのままにしないで、きちんと学習して、基礎的な知識を身につけましょう。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	サイエンスと化学(数値精度, 単位)	元素名と元素記号、さらに化学式を記述できる。	講義
	2	元素・原子・分子(原子の構造)		講義
	3	物質の構成と化学結合(物質の構成, 化学結合)	物質の構成や構造を説明できる。	講義
	4	物質の状態(1)(状態の定義)	物質の状態変化を説明できる。	講義
	5	物質の状態(2)(気体, 液体, 固体)		講義
	6	溶液の化学(1)(溶液の定義, 濃度)	化学変化と物理変化の相違を説明できる。	講義
	7	溶液の化学(2)(溶液の性質)		講義
	8	コロイド化学(1)(コロイド溶液の定義)		講義
	9	コロイド化学(2)(コロイド溶液の性質)		講義
	10	酸と塩基(1)(酸と塩基の定義)	酸性・アルカリ性と pH を説明できる。	講義
	11	酸と塩基(2)(pH の定義, 中和反応)		講義
	12	酸と塩基(3)(緩衝溶液)		講義
	13	酸化と還元(酸化還元反応の定義)		講義
	14	有機化学(有機化合物とは何か)	無機・有機化合物の相違を説明できる。	講義
	15	高分子化学(高分子化合物とは何か)・期末(到達目標達成確認)試験		講義/試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床医学Ｉ【診察概論（臨床医学総論）】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	池崎 園江 （いけざき　そのえ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2～3 学期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	臨床に必要な診察および治療に関する医学知識ならびに技能の概要を理解する。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	臨床医学総論の概要を理解する。 診察の方法と応用を概説できる。

【担当教員から】

教科書	１．『臨床医学総論』学校協会編
参考書	１．『臨床医学各論』学校協会編 ２．『リハビリテーション医学』学校協会編
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・臨床医学Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．解剖学、生理学を理解していることを前提に授業を行います。各器官の名称および生理機能を復習しておいて下さい。 ２．復習が大事です。関連する他の科目と関連付けて理解します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
２期	1	診察の概要・医療面接（問診）	診察の概要、問診についての概要が説明できる。	講義
	2	身体診察の方法	身体診察についての概説が説明できる。	講義
	3	生命徴候	生命徴候についての概説が説明できる。	講義
	4	生命徴候		講義
	5	全身の診察	全身の診察についての概要が説明できる。	講義
	6	全身の診察		講義
	7	全身の診察		講義
	8	全身の診察		講義
	9	全身の診察		講義
	10	まとめ		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	13	感覚検査法	感覚検査についての概要が説明できる。	講義
	14	感覚検査法		講義
	15	反射検査	反射についての概要が説明できる。	講義
	16	反射検査		講義
	17	脳神経の検査	脳神経の検査についての概要が説明できる。	講義
	18	脳神経の検査		講義
	19	運動機能検査	運動機能検査についての概要が説明できる。	講義
	20	運動機能検査		講義
	21	運動機能検査		講義
	22	まとめ		講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	25	年度末試験		試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】疾病治療論Ｉ【リハビリテーション医学概論Ｉ】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	福本　彩季 （ふくもと　あき）	
単位数	2 単位			
開講学期	2～3 学期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	リハビリテーションは運動機能、日常生活活動の能力の障害を回復させ、社会・環境への適応を促進するために必要な第４の医学と呼ばれる。ここでは、リハビリテーション医学を理解し、障害と障害者への対応の概念を学ぶ。また、日本は４人に１人が高齢者となる超高齢社会を迎える。厚生労働省は 2025 年を目途に高齢者の尊厳の保持と自立生活支援の目的の元、地域包括ケアシステムの構築を推進しており、疾病予防と健康増進を目的にリハビリテーションの必要性は増し、さらに在宅医療推進の流れの中、あらゆる疾患経過時期における対応においてその重要性は高まっていることから、地域包括ケアシステムの構成要因としての、あはき師の役割を見据え、介護予防の分野における機能運動訓練を実践する。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	障害を理解し、リハビリテーションの各時期に応じた対応を学ぶと共に、あはき施術・介護分野・リハビリテーションにおける臨床・福祉の現場で活用できる、障害評価手法を学び実践をする。

【担当教員から】

教科書	１．『リハビリテーション医学』学校協会編
参考書	１．『標準リハビリテーション医学』医学書院 ２．『理学療法ハンドブック』協同医書出版社 ３．『障害と活動の測定・評価ハンドブック』南江堂
成績評価の 基準と方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
担当教員からの 履修に当たっての 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・疾病治療論Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．HR にて教科書や配布プリント等を用いて、講義形式で行います。 ２．授業ではノートを取ったり、プリントに記入したりしながら、話をよく聴いてください。 ３．授業中は机上に飲み物や食べ物を置かないでください。 ４．携帯電話の電源は切ってください。どうしても携帯電話の使用が必要な場合は申し出てください。 ５．欠席した場合の配付資料はクラスメートにもらってもらうか、次の授業までに教員室にもらいに来てください。
オフィスアワー	授業開講日の 12:45～13:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
２期	1	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝと障害	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝと障害を説明出来る。	講義
	2	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学と医療	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝと医学と医療を説明出来る。	講義
	3	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学と医療	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝと医学と医療を説明出来る。	講義
	4	障害の評価	四肢長と周径、関節可動域測定法を説明できる。	講義
	5	障害の評価	徒手筋力テスト、粗大運動、運動の協調性のテストを説明できる。	講義
	6	障害の評価	四肢長と周径、関節可動域測定法、徒手筋力テストを実践できる。	実習
	7	障害の評価	活動の評価（ADL の評価）を説明出来る。	講義
	8	障害の評価	参加の評価、合併症の評価を説明できる。	講義
	9	障害の評価	運動麻痺の評価、運動年齢テストを説明出来る。	講義
	10	障害の評価	失行失認、心理的評価を説明出来る。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	13	医学的ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	理学療法（運動療法）を説明できる。	講義
	14	医学的ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	理学療法（運動療法）を説明できる。	講義
	15	医学的ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	理学療法（物理療法）、作業療法、言語聴覚療法を説明できる。	講義
	16	医学的ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ 各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	・装具療法、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護、ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学が説明できる。 ・末梢神経のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	17	医学的ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	杖・松葉杖歩行、車椅子操作訓練を実践できる。	実習
	18	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	骨関節疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝを説明できる。	講義
	19	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	骨関節疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝを説明できる。	講義
	20	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	関節リウマチのﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	21	障害の評価	姿勢とその異常、正常歩行を説明出来る。	講義
	22	障害の評価	異常歩行を説明出来る。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	25	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門基礎分野　保健医療福祉とあん摩マッサージ指圧、はり、きゆうの理念

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】保健と医療Ⅱ【医療概論】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	相田　典子 （あいだ　のりこ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	国民が医療施設で医療を受けた際、医療費の負担が軽減される医療保険制度をわが国は敷いている。残念ながら、あん摩マッサージ指圧、鍼灸（以下、あはき）の治療費はこの対象ではない。但し、現在は腰痛や五十肩などの限られた疾患に関しての鍼灸の治療費が保険適応される(医療保険療養費支給申請ができる)制度がある。この授業ではわが国の医療保険制度や療養費の支給申請のための具体的方法を学ぶ。また、昨今一般的に知られるようになった代替医療や統合医療はどういうものなのか、その中におけるあはきの位置づけや役割、他の手法との違いを学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	免許を与えられて施術を行う責任感を持ち、わが国の社会保障制度について習得するために、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として医療保険療養費支給申請の手続きを理解する。 良質な医療連携を担えるようにあはき師としてどうあるべきかを考察するために、医療倫理について理解する。

【担当教員から】

教科書	１．「衛生学・公衆衛生学」第２版；東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株) ２．「医療概論；東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株) ３．「社会あはき学」；東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株)
参考書	１．「国民衛生の動向」；厚生労働統計協会 ２．「療養費の支給基準」；社会保険研究所 ３．「公衆衛生がみえる」；メディックメディア
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・保健医療福祉とあん摩マッサージ指圧、はり、きゆうの理念・保健と医療Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．HR にて教科書や配布プリント等を用いて、講義形式で行います。 ２．授業ではノートを取ったり、プリントに記入しながら、話をよく聴いてください。 ３．授業中は机上に飲み物や食べ物を置かないでください。 ４．携帯電話の電源は切ってください。どうしても携帯電話の使用が必要な場合は申し出てください。 ５．欠席した場合の配付資料はクラスメートにもらってもらうか、次の授業までに教員室にもらいに来てください。
オフィスアワー	授業開講日の 12:45～13:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	わが国の社会保障制度	わが国の社会保障制度を概説できる。	講義
	2	わが国の医療保障制度①	社会保険や公的扶助について説明できる。 医療保険の種類を挙げ、説明できる。 公費医療について説明できる。 医療費の支払いについて概説できる。 あはきの療養費の取り扱いについて概説できる。	講義
	3	わが国の医療保障制度②		講義
	4	わが国の医療保障制度③		講義
	5	わが国の医療保障制度④		講義
	6	わが国の医療保障制度⑤		講義
	7	国民医療費	国民医療費について説明できる。 国民医療費増大の原因と対策を説明できる。	講義
	8	わが国の介護保険制度	わが国の介護保険制度について概説できる。	講義
	9	医療に携わる者としての倫理	ヒポクラテスの誓い等、医療に携わる者としての倫理が理解できる。 患者の権利の宣言等、患者と医療に携わる者としての倫理を理解できる。	講義
	10	医療と社会の倫理	医療と社会の倫理を理解できる。 医療倫理の変遷を説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門分野 基礎あん摩マッサージ指圧学、基礎はり学、基礎きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】東洋医学Ⅲ【東洋医学概論Ⅱ】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	西岡　岳之 （にしおか　たけゆき）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学の診断法である四診を理解し、四診から得られる情報を基に証を決定する。さらに、証に応じた治療法、治療穴について学ぶ。また、様々な刺法の特徴についても学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	東洋医学による診断、治療ができる様になるために、東洋医学における人体の構造機能の基礎知識の概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。 【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・基礎はり学、基礎きゅう学・東洋医学Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．東洋医学の考え方による治療に結びつく所であるため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれる。 ２．授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 ３．東洋医学には独特の考え方があるので、現代医学理論にこだわらないこと。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	弁証①　1）八綱弁証	1. 八綱弁証について説明できる。	講義
	2	望診①（神・色・形・態、舌診）	1. 神・色・形・態について説明できる。 2. 舌診について説明できる。	講義
	3	望診②（舌診）	1. 特徴的な舌と証について説明できる。	講義
	4	聞診（声診・五音・五声・呼吸・発語・異常音・気味）	1. 聞診について説明できる。 2. 特徴的な症状と証について説明できる。	講義
	5	問診①（問診の進め方・主訴・基本的問診事項）	1. 問診について説明できる。 2. 寒熱と証について説明できる。 3. 飲食と証について説明できる。 4. 睡眠と証について説明できる。 5. 二便と証について説明できる。 6. 情志と証について説明できる。 7. 生活環境と証について説明できる。 8. 身体各部位の症状と証について説明できる。 9. 汗と証について説明できる。 10. 疼痛と証について説明できる。 11. 女性の症状と証について説明できる。	講義
	6	問診②（基本的問診事項）		講義
	7	問診③（その他の問診事項）		講義
	8	問診④（その他の問診事項）		講義
	9	切診①（反応・腹診・切経・経穴診）	1. 切診について説明できる。 2. 特徴的な症状と証について説明できる。	講義
	10	切診②（脈診・四診合参）	1. 脈診について説明できる。 2. 特徴的な脈と証について説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	弁証②　2）気血津液弁証①	1. 気の病証について説明できる。 2. 血の病証について説明できる。 3. 津液の病証について説明できる。 4. 精の病証について説明できる。 5. 陰の病証について説明できる。 6. 陽の病証について説明できる。 7. 複合的な病証について説明できる。	講義
	14	弁証③　2）気血津液弁証②		講義
	15	弁証④　2）気血津液弁証③		講義
	16	弁証⑤　2）気血津液弁証④		講義
	17	弁証⑥　3）臓腑弁証①	1. 肝・胆の病証について説明できる。 2. 心・小腸の病証について説明できる。 3. 脾・胃の病証について説明できる。 4. 肺・大腸の病証について説明できる。 5. 腎・膀胱の病証について説明できる。 6. 五臓の複合病証について説明できる。	講義
	18	弁証⑦　3）臓腑弁証②		講義
	19	弁証⑧　3）臓腑弁証③		講義
	20	弁証⑨　3）臓腑弁証④		講義
	21	弁証⑩　3）臓腑弁証⑤		講義
	22	弁証⑪　3）臓腑弁証⑥		講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	弁証⑫　3）臓腑弁証⑦	1. 五臓の複合病証について説明できる。	講義
	26	弁証⑬　3）臓腑弁証⑧		講義
	27	弁証⑭　3）臓腑弁証⑨		講義
	28	弁証⑮　4）経絡弁証	1. 十二経脈の病証について説明できる。	講義
	29	弁証⑯　5)六淫弁証・6)六経弁証 7)衛気営血弁証・8）三焦弁証・標本と主客	1. 六淫弁証について説明できる。 2. 六経弁証について説明できる。 3. 衛気営血弁証について説明できる。 4. 三焦弁証について説明できる。 5. 標本と主客について説明できる。	講義
	30	論治①（治則・治法）	1. 医療人の心得について説明できる。 2. 治療原則について説明できる。 3. 治法について説明できる。	講義
	31	論治②（治則・治法）		講義
	32	論治③（治療法の概要）	1. 治療法の概要について説明できる。 2. 補瀉法について説明できる。	講義
	33	論治④（治療法の概要）	1. 選穴の原則について説明できる。 2. 古代刺法について説明できる。	講義
	34	まとめ		講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門分野 基礎あん摩マッサージ指圧学、基礎はり学、基礎きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】東洋医学Ⅳ【経絡経穴概論Ⅱ】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	黒田　達夫 （くろだ　たつお）	
単位数	2 単位			
開講学期	1～2 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	あはき師において臨床では経穴を取穴出来ることは必須である。1 年次には取穴に必要な経絡経穴の種類や名前、部位を学んだが、ここでは、さらに確実に取穴をするために人体の骨、筋肉、神経、血管などの場所を正確に覚える。また、特によく使われる要穴や奇穴を名前や部位を覚え、臨床に必要な経絡経穴の知識を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	人体各部の経穴を教科書に記載された通りに取穴するために、筋、神経、血管の場所を理解し、実際の取穴法を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．WHO 経穴部位日本語公式版 ２．東洋医学概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験、授業毎に実施する小テストの評価を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、小テストの評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・基礎あん摩マッサージ指圧学、基礎はり学、基礎きゅう学・東洋医学Ⅳの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．治療を行うための最も基本的なものであるため、積極的な学習姿勢が望まれます。 ２．経穴の概要、経穴名、取穴部位、解剖学的知識の理解が必要になります。既習科目の理解を深めておくことが大切です。 ３．欠席、遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなります。授業の出欠には十分留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	奇穴の部位と主治	奇穴の主治、部位を説明できる。	講義
	2	奇穴の部位と主治組合せ穴	奇穴の主治、部位を説明できる。 組合せを概説できる。	講義
	3	五要穴の概要と部位	五要穴の意味を説明できる。 五要穴に属する経穴とその部位を説明できる。	講義
	4	五兪穴の概要と部位	五兪穴の意味を説明できる。 五兪穴に属する経穴とその部位を説明できる。	講義
	5	八会穴の概要と部位 四総穴の概要と部位 八総穴の概要と部位	八会穴・四総穴・八総穴の意味を説明できる。 八会穴・四総穴・八総穴に属する経穴とその部位を説明できる。	講義
	6	奇経八脈の概要と流注、所属経穴について	奇経八脈の概要と流注、所属経穴について説明できる。	講義
	7	経絡経穴の現代的研究	経絡・経穴の現代的研究を説明できる。	講義
	8	上腕陰経、陽経の経穴の部位と取穴法、解剖について	上腕陰経、陽経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	9	前腕陰経の経穴の部位と取穴法、解剖について	前腕陰経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	10	前腕陽経の経穴の部位と取穴法、解剖について	前腕陽経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	11	まとめ		講義
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		試験
２期	13	大腿陰経、陽経の経穴の部位と取穴法、解剖について	大腿陰経、陽経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	14	下腿陽経の経穴の部位と取穴法、解剖について	下腿陽経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	15	下腿陰経の経穴の部位と取穴法、解剖について	下腿陰経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	16	腰背殿部の経穴の部位と取穴法、解剖について	腰背殿部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	17	腰背殿部の経穴の部位と取穴法、解剖について	腰背殿部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	18	胸腹部の経穴の部位と取穴法、解剖について	胸腹部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	19	胸腹部の経穴の部位と取穴法、解剖について	胸腹部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	20	頸部、顔面部の経穴の部位と取穴法、解剖について	頸部、顔面部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	21	頸部、顔面部の経穴の部位と取穴法、解剖について	頸部、顔面部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	22	頭部の経穴の部位と取穴法、解剖について	頭部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について説明できる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	25	年度末試験		試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　臨床あん摩マッサージ指圧学・臨床はり学・きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】あはき理論Ｉ【あはき理論Ｉ】

【基本情報】

配当年次	２学年	担当教員	川畑　充伸 （かわはた　みつのぶ）	
単位数	１単位			
開講学期	３学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	あん摩マッサージ指圧、鍼、灸の施術が生体に対しどのように作用するか、なぜ体調や症状の変化が起こるのかを、解剖学・生理学を踏まえて、理解するための理論を学ぶ科目です。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	あん摩マッサージ指圧・鍼・灸による生体の反応や作用について理解し、患者さんに説明できるようになるために、解剖学・生理学の知識を基に治効の理論を修得する。

【担当教員から】

教科書	１.「あん摩マッサージ指圧理論」第３版　東洋療法学校協会編　(株)医道の日本社 ２.「はりきゅう理論」東洋療法学校協会編　(株)医道の日本社
参考書	１.「鍼灸医療安全ガイドライン」鍼灸安全性委員会　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験、授業振り返りシートの内容を総合的に評価する。 ※授業終了時に配布した用紙にその日の最重要点を簡潔まとめさせ、その内容の出来不出来によって算定される。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、授業振り返りシートの評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・臨床あん摩マッサージ指圧学・臨床はり学・きゅう学・あはき理論Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 12:45～13:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
3 期	1	感覚 １．感覚とは ２．触圧覚の受容と伝導①	人体の感覚について説明できる。 触圧刺激の種類と特徴について説明できる。 触圧覚受容器の種類と特徴について説明できる。 触圧覚の求心性神経の種類と特徴について説明できる。	講義
	2	２．触圧覚の受容と伝導② ３．温度覚の受容と伝導①	触圧覚の伝導路について説明できる。 温度刺激の種類について説明できる。 温覚・冷覚受容器の種類と特徴について説明できる。 温度覚の求心性神経の種類と特徴について説明できる。 温度覚の伝導路について説明できる。	講義
	3	４．痛覚の受容と伝導①	痛みの分類と特徴について説明できる。 痛覚受容器の種類と特徴について説明できる。 内因性発痛物質の種類と特徴について説明できる。 求心性神経線維の種類と特徴について説明できる。	講義
	4	５．痛覚の受容と伝導② （３．温度覚の受容と伝導②） ６．深部感覚の受容と伝導	痛覚の伝導路について説明できる。 痛覚投射部位について説明できる。 熱痛・冷痛の発生と特徴について説明できる。 関連痛について説明できる。 深部感覚の種類について説明できる。 深部感覚の求心性神経の種類と特徴について説明できる。 深部感覚の伝導路について説明できる。	講義
	5	７．反射と鍼灸刺激 ①体性-運動反射②自律神経反射（体性-内臓、内臓-内臓、内臓-体性反射）③軸索反射	体性-運動反射について説明できる。 自律神経反射について説明できる。 軸索反射について説明できる。	講義
	6	鍼鎮痛 １．鍼麻酔 ２．鍼鎮痛① （１）体内の鎮痛機構 （２）内因性モルヒネ様物質（内因性オピオイドペプチド）	鍼麻酔について説明できる。 体内の鎮痛機構について説明できる。 内因性モルヒネ様物質の種類について説明できる。 オピオイドの受容体と拮抗物質について説明できる。	講義
	7	２．鍼鎮痛② （３）鍼鎮痛の末梢経路と中枢経路 ①下行性痛覚抑制系 ②上行性痛覚抑制系	上行性痛覚抑制系について説明できる。 下行性痛覚抑制系について説明できる。	講義
	8	２．鍼鎮痛③ （３）鍼鎮痛の末梢経路と中枢経路② ③ゲートコントロール説による鎮痛 ④広汎性侵害抑制調節 ⑤末梢性鎮痛 ⑥その他の鎮痛機序	ゲートコントロール説について以下の事柄を基に説明できる。 広汎性侵害抑制調節について説明できる。 末梢性鎮痛について説明できる。 その他の鎮痛機序について概説できる。	講義
	9	鍼灸施術の治療的作用	鍼灸施術の治療的作用について説明できる。	講義
	10	まとめ		講義
	11	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　臨床あん摩マッサージ指圧学、臨床はり学、臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】あはき臨床診察学Ⅰ【医療面接概論・身体診察実習】

【基本情報】

配当年次	２学年	担当教員	川澄　裕子（実務経験あり） （かわすみ　ゆうこ）	
単位数	３単位			
開講学期	１～３学期	授業形態･回数	講義、演習	36 回

【授業情報】

授業概要	あはき臨床の中で病態の鑑別をする上で医療面接（Medical Interview）と身体診察（Physical Examination）が的確にできるかが大きく影響します。ここでは、患者の身体の状態を総合的に診るための医療面接と身体診察の目的と意義並びにそれらの技術の基本を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１．あん摩マッサージ指圧、はり及びきゅうの臨床における基本的臨床技能として重要な位置にある医療面接を習得するために、医療面接･コミュニケーション技法を理解する。 ２．施術者としてお互いの立場を尊重した人間関係を構築して、適切な医療面接を習得するために、患者役と面接者役となってロールプレイを行い、医療面接技法を理解する。 ３．あん摩マッサージ指圧、はり及びきゅうの臨床に必要な身体診察を実践するために、身体診察技能を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株) ２．「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株) ３．その他、教材・資料プリント配布
参考書	１．開業鍼灸師のための診察法と治療法１～５；出端昭男著（医道の日本社） ２．はじめての医療面接コミュニケーション技法とその学び方；斎藤清二著（医学書院）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを１学期と２学期の期末試験と３学期間の期末試験に該当させる３年次鍼灸臨床実習前評価試験の結果を総合的に判断して評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験（鍼灸臨床実習前評価試験試験含む）：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験（鍼灸臨床実習前評価試験試験含む）の評価を合計して 60%以上により履修とする。【３年次鍼灸臨床実習前評価試験対象科目】この科目は専門分野・臨床あん摩マッサージ指圧学・臨床はり学・臨床きゅう学・あはき臨床診察学Ⅰの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） ３年次に行う鍼灸臨床実習に必要不可欠な授業であるため、出席状況が技術の習熟度に直結するといっても過言ではありません。また、グループを組んで行う内容もあるので、欠席や遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなく、クラスメイトにも迷惑をかけます。体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	１．授業ガイダンス （鍼灸臨床の流れ） ２．バイタルサインの確認 （脈拍と血圧測定）	医療面接･問診、身体診察から鍼灸施術に至る臨床の一連の流れが理解できる。 バイタルサインが確認できる。毎回の授業時に脈拍、血圧測定が実践できる。	講義･演習
	2	３．腰痛の診察①	主訴に対する主要疾患の特徴が説明できる。 主訴に対する問診事項の意義を理解して実践できる。 主訴に対する身体診察の意義を理解して実践できる。	講義･演習
	3	３．腰痛の診察②		講義･演習
	4	４．腰下肢痛の診察①		講義･演習
	5	４．腰下肢痛の診察②		講義･演習
	6	４．腰下肢痛の診察③		講義･演習
	7	５．頚上肢痛の診察①		講義･演習
	8	５．頚上肢痛の診察②		講義･演習
	9	５．頚上肢痛の診察③		講義･演習
	10	まとめ		講義･演習
	11	*期末(到達目標達成確認)試験	（腰痛・腰下肢痛・頚上肢痛の診察）	試験
	12	試験フィードバック		講義･演習
２期	13	６．膝関節痛の診察①	主訴に対する主要疾患の特徴が説明できる。 主訴に対する問診事項の意義を理解して実践できる。 主訴に対する身体診察の意義を理解して実践できる。	講義･演習
	14	６．膝関節痛の診察②		講義･演習
	15	６．膝関節痛の診察③		講義･演習
	16	７．肩関節痛の診察①		講義･演習
	17	７．肩関節痛の診察②		講義･演習
	18	７．肩関節痛の診察③		講義･演習
	19	まとめ		演習
	20	期末(到達目標達成確認)試験	（膝関節痛・肩関節痛の診察）	試験
	21	試験フィードバック		講義･演習
	22	８．上肢痛・下肢痛の診察	徒手検査法の意義を理解して実践できる。	講義･演習
	23	９．医療面接概論	コミュニケーションの基礎並びに医療面接の技法を理解し、実践することができる。	講義･演習
	24	10．臨床推論概論	３年次鍼灸臨床実習を行う班（基本３人１組）内で協力して、腰痛・腰下肢痛・頚上肢痛・膝関節痛・肩関節痛それぞれの現病歴と診察所見から病態を推察し、あはき施術の適否を鑑別することができる。	講義・演習
３期	25	臨床推論演習①		講義・演習
	26	臨床推論演習②		講義・演習
	27	臨床推論演習③		講義・演習
	28	臨床推論演習④		講義・演習
	29	臨床推論演習⑤		講義・演習
	30	臨床推論演習⑥		講義・演習
	31	臨床推論演習⑦		講義・演習
	32	後期期末試験シミュレーション	施術所にて実施される３年次鍼灸臨床実習での身体診察を安全かつ正確に行い所見を取ることができる。	講義・演習
	33	後期期末試験シミュレーション		講義・演習
	34	後期期末試験シミュレーション		講義・演習
	35	後期期末試験シミュレーション		講義・演習
	36	期末(到達目標達成確認)試験	※「施術所における臨床実習前施術実技試験」として実施	試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門分野 臨床あん摩マッサージ指圧学、臨床はり学、臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】あはき臨床診察学Ⅱ【あはき診察学Ⅰ（臨床医学各論Ⅰ）】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	足立　昌彦 （あだち　まさひこ）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	１年時に学んだ人体についての解剖学・生理学をもとに、人体の機能が正常に働かなくなった状態である疾病についての概要を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	主要疾患の概念、原因、主症状、検査所見と類似する疾患との鑑別診断の要点を身につける。

【担当教員から】

教科書	１．「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	１．「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験により評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床あん摩マッサージ指圧学・臨床はり学・臨床きゅう学・あはき臨床診察学Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業内容は実技科目と臨床実習が関連するため、積極的な学習姿勢が望まれます。
オフィスアワー	授業開講日の 12:45～13:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1学期	1	整形外科疾患①	整形外科疾患（関節疾患・骨代謝性疾患・骨腫瘍・筋・腱疾患・形態異常・脊椎疾患・脊髄損傷・外傷等）についての概要が説明できる。	講義
	2	整形外科疾患②		講義
	3	整形外科疾患③		講義
	4	整形外科疾患④		講義
	5	整形外科疾患⑤		講義
	6	感染症①	感染症（細菌感染症・ウイルス感染症・性感染症）についての概要が説明できる。	講義
	7	感染症②		講義
	8	口腔・胃腸系疾患①	口腔・胃腸系疾患（口腔疾患・食道疾患・胃・十二指腸疾患・腸疾患・腹膜疾患）についての概要が説明できる。	講義
	9	口腔・胃腸系疾患②		講義
	10	口腔・胃腸系疾患③		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
2学期	13	肝・胆・膵臓系疾患①	肝・胆・膵臓系疾患（肝臓疾患・胆道疾患・膵臓疾患）についての概要が説明できる。	講義
	14	肝・胆・膵臓系疾患②		講義
	15	呼吸器系疾患①	呼吸器疾患（感染性呼吸器疾患・閉塞性呼吸器疾患・拘束性呼吸器疾患等）についての概要が説明できる。	講義
	16	呼吸器系疾患②		講義
	17	呼吸器系疾患③		講義
	18	泌尿器系疾患①	泌尿器系疾患（原発性糸球体腎炎・腎不全・感染症・腫瘍性疾患・結石症・前立腺疾患）についての概要が説明できる。	講義
	19	泌尿器系疾患②		講義
	20	泌尿器系疾患③		講義
	21	内分泌系疾患①	内分泌系疾患（下垂体疾患・甲状腺疾患）についての概要が説明できる。	講義
	22	内分泌系疾患②		講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答		講義
3学期	25	内分泌系疾患③	内分泌系疾患（副腎疾患）についての概要が説明できる。	講義
	26	代謝系疾患①	代謝系疾患（糖代謝異常・脂質代謝異常・尿酸代謝異常等）についての概要が説明できる。	講義
	27	代謝系疾患②		講義
	28	循環器系疾患①	循環器系疾患（心臓疾患・冠動脈疾患・動脈疾患・血圧異常）についての概要が説明できる。	講義
	29	循環器系疾患②		講義
	30	循環器系疾患③		講義
	31	血液・造血器系疾患①	血液・造血器系疾患（赤血球疾患・白血球疾患・リンパ網内系疾患・出血性素因）についての概要が説明できる。	講義
	32	血液・造血器系疾患②		講義
	33	血液・造血器系疾患③		講義
	34	まとめ		講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答		講義
	37	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　臨床あん摩マッサージ指圧、臨床はり学、臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】あはき臨床診察学Ⅲ【東洋臨床診察治療学】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	川澄　裕子 （かわすみ　ゆうこ）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学概論で学習した診断、治療を応用し、症状に対する考え方から証立て、配穴、治療法を学習する。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	１．東洋医学概論で学習した診断、治療を応用し、患者の愁訴から証立てを行うために、各症候の東洋医学的な病態を理解する。 ２．経絡経穴概論で学習した経絡の流注、経穴の特徴を応用し選穴・配穴を行うために、各病証・証立てに応じた配穴を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編 ３．東洋医学臨床論（はりきゅう編）；東洋療法学校協会編 ４．東洋医学臨床論（あん摩マッサージ指圧編）；東洋療法学校協会編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験）：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験が 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・臨床あん摩マッサージ指圧、臨床はり学、臨床きゅう学・あはき臨床診察学Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 東洋医学の考え方による治療法を学ぶため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	治療総論、治療原則	1. 治療原則について説明することができる。	講義
	2	頭痛	1. 各症候の東洋医学的な考え方を述べることができる。 2. 各症候の東洋医学的な病態を説明することができる。 3. 適応となる疾患の治療方針、治療穴を列挙することができる。	講義
	3	頭痛		講義
	4	顔面痛		講義
	5	顔面麻痺		講義
	6	歯痛		講義
	7	眼精疲労		講義
	8	鼻閉と鼻汁		講義
	9	脱毛症		講義
	10	めまい		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	耳鳴りと難聴	1. 各症候の東洋医学的な考え方を述べることができる。 2. 各症候の東洋医学的な病態を説明することができる。 3. 適応となる疾患の治療方針、治療穴を列挙することができる。	講義
	14	咳嗽		講義
	15	喘息		講義
	16	胸痛		講義
	17	腹痛		講義
	18	悪心と嘔吐		講義
	19	便秘		講義
	20	下痢		講義
	21	月経異常		講義
	22	排尿障害		講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	インポテンツ	1. 各症候の東洋医学的な考え方を述べることができる。 2. 各症候の東洋医学的な病態を説明することができる。 3. 適応となる疾患の治療方針、治療穴を列挙することができる。	講義
	26	高血圧		講義
	27	低血圧		講義
	28	食欲不振		講義
	29	肥満		講義
	30	発熱		講義
	31	のぼせと冷え		講義
	32	不眠		講義
	33	疲労と倦怠		講義
	34	発疹		講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　実習　鍼灸実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】応用はりきゅう実技Ｉ【東洋臨床診察治療実習】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	小熊　勇人 （実務経験あり） （おぐま　はやと）	周防　一平 （実務経験あり） （すほう　いっぺい）
単位数	2 単位			
開講学期	前･後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学概論で学習した診断、治療を応用し中医学、経絡治療の考え方を学ぶ。また東洋医学的な医療面接や四診から証立てや配穴を導き出し、治療に必要な技術を学ぶ。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	種々の症候に対する東洋医学的施術（中医学・経絡治療）が行えるようになるために、以下の目標を位置づける。 １．東洋医学的な医療面接について理解する。 ２．四診を理解する。 ３．東洋臨床診察治療学で学習した診断、治療を応用するために、東洋医学的な治療に必要な技術を習得する。 ４．証立てから、配穴法を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編 ３．東洋医学臨床論；東洋療法学校協会編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価が 60%以上により履修とする。この科目は専門分野・実習・鍼灸実習・応用はりきゅう実技Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．東洋医学的な治療を体得できるよう、反復練習をすること。 ２．施術する経穴を十分理解すること。 ３．授業では、実技の前に講義とデモンストレーションがあるのでノートをとりながら、話をよく聞くこと。 （身だしなみなど衛生的配慮等を施術者として心掛けてください。）
オフィスアワー	授業開講日の 12:45～13:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	望診（舌診）	1. 舌診について説明できる。 2. 舌診から証立てができる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	2	問診①（問診の進め方・主訴・基本的問診事項）	1. 問診項目について説明できる。 2. 問診から証立てができる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	3	問診②（基本的問診事項）		実習
	4	切診①（腹診）	1. 腹診について説明できる。 2. 腹診から証立てができる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	5	切診②（脈診１）	1. 脈診について説明できる。 2. 脈診から証立てができる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	6	切診③（脈診２）		実習
	7	弁証①　2）気血津液弁証①	1. 気の病証について説明できる。 2. 血の病証について説明できる。 3. 津液の病証について説明できる。 4. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	8	弁証②　2）気血津液弁証②		実習
	9	前期確認試験		試験
	10	まとめ	フィードバック	実習
	11	弁証③　3）臓腑弁証①（肝と胆）	1. 肝の病証について説明できる。 2. 胆の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	12	弁証④　3）臓腑弁証②（心と小腸）	1. 心の病証について説明できる。 2. 小腸の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	13	弁証⑤　3）臓腑弁証③（脾と胃）	1. 脾の病証について説明できる。 2. 胃の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	14	弁証⑥　3）臓腑弁証④（肺と大腸）	1. 肺の病証について説明できる。 2. 大腸の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	15	弁証⑦　3）臓腑弁証⑤（腎と膀胱）	1. 腎の病証について説明できる。 2. 膀胱の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	16	弁証⑧　4）臓腑相関弁証	1. 臓腑相関弁証について説明できる。 2. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	17	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	18	まとめ	フィードバック	実習
後期	19	補瀉手技	補瀉手技ができる。	実習
	20	足陰経の取穴	足陰経の取穴ができる。	実習
	21	手陰経の取穴	手陰経の取穴ができる。	実習
	22	経絡治療概論	経絡治療概論について説明できる。	実習
	23	病理二分論　六十九難本治法	病理二分論と六十九難本治法を説明できる。	実習
	24	祖脈診の理論と実技	祖脈診の理論について説明でき祖脈診ができる。	実習
	25	取穴練習	指定された経穴の取穴ができる。	実習
	26	後期確認試験		試験
	27	比較脈診の理論と実技	比較脈診の理論について説明でき実技ができる。	実習
	28	全身調整穴（仰臥位）	全身調整穴の取穴と刺鍼ができる。	実習
	29	全身調整穴（伏臥位）	全身調整穴の取穴と刺鍼ができる。	実習
	30	肝　蔵象と虚証	蔵象と虚証について説明できる。	実習
	31	腎　蔵象と虚証	蔵象と虚証について説明できる。	実習
	32	肺　蔵象と虚証	蔵象と虚証について説明できる。	実習
	33	脾　蔵象と虚証	蔵象と虚証について説明できる。	実習
	34	全身調整穴刺鍼練習	全身調整穴の取穴と刺鍼ができる。	実習
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	まとめ	フィードバック	実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　鍼灸実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】応用はりきゅう実技Ⅱ【特殊鍼法・特殊灸法実習】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	小熊　勇人（実務経験あり） （おぐま　はやと）	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	実習	18 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸医学の治療法には様々な対応方法がある。施術者は一つの治療法のみに固執することなく、患者の様々な愁訴、要望に合わせて最も効果的な治療方法を選択しなければならない。 外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、伝統的な刺鍼法や施灸法を実践できるようにすることを目的とする。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	患者の様々な愁訴や要望に合わせて最も効果的な治療を選択するために、1 年次で修得した基本技能をもとに、伝統的な刺鍼法・施灸法を修得する。

【担当教員から】

教科書	1．はりきゅう理論；東洋療法学校協会編（医道の日本社） 2．はりきゅう実技〈実技編〉第 2 版；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	1．図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第 2 版；尾崎明弘著（医歯薬出版株式会社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験にて判断する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上により履修とする。この科目は専門分野・実習・鍼灸実習・応用はりきゅう実技Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 本授業では、特殊な鍼灸技術も学習します。場合によっては危険を伴う手技もあるので、教員のデモンストレーションをよく見て、話をよく聞き、注意を怠らないでください。また、事故防止のため、指示された部位以外への施灸を禁止します。指示された施灸が終了した時点で、必ず指導教員に確認を求め、次の指示に従ってください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	１．ガイダンス ２．温筒灸・艾条灸	温筒灸・艾条灸の使用用途を説明できる。 温筒灸・艾条灸を安全に行うことができる。	実習
	2	３．知熱灸・深谷灸法 ４．隔物灸(生姜灸・塩灸など)	知熱灸・深谷灸法・隔物灸の使用用途を説明できる。 温筒灸・艾条灸・隔物灸を安全に行うことができる。	実習
	3	５．接触鍼法（散鍼） ６．小児鍼・灸法	散鍼・小児鍼・小児灸の使用用途を説明できる。 散鍼・小児鍼を安全に行うことができる。	実習
	4	７．灸頭針法	灸頭針法の使用用途を説明できる。 灸頭針法を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	5			実習
	6			実習
	7	後期中間試験	（灸頭針）試験後フィードバック	試験
	8	８．皮内鍼・円皮鍼 ９．耳鍼	皮内鍼・円皮鍼・耳鍼の使用用途を説明できる。 皮内鍼・円皮鍼・耳鍼を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	9	10．吸角	吸角の使用用途を説明できる。 吸角を安全に行うことができる。	実習
	10			実習
	11	11．低周波鍼通電療法①基本的使用方法 ②下肢 ③上肢 ④体幹	低周波鍼通の使用用途を説明できる。 低周波鍼通を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	12			実習
	13			実習
	14	まとめ(低周波鍼通電・吸角)		実習
	15	期末(到達目標達成確認)試験	（低周波鍼通電・吸角）試験後フィードバック	試験
	16	12.頭皮部(百会)･顔面部(胡桃灸･眼瞼知熱灸)への施灸	頭皮部・顔面部への施灸の使用用途を説明できる。 頭皮部・顔面部への施灸を安全に行うことができる。	実習
	17	13．顔面部への刺鍼	顔面部への刺鍼の使用用途を説明できる。 顔面部への刺鍼を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	18			実習

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　鍼灸実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき適応疾患実習Ｉ【運動器系疾患実習】

【基本情報】

配当年次	２学年	担当教員	川澄　裕子（実務経験あり）	
単位数	２単位		（かわすみ　ゆうこ）	
開講学期	前・後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、運動器疾患に対する刺鍼法や施灸法を実践できるようにすることを目的としています。腰痛、腰下肢痛、頚上肢痛、肩痛、膝痛を始め、その他の運動器系疾患（スポーツ障害を含む）で、はき臨床において最も高頻度に扱われる症候・愁訴に対する施術の要点について学んでいきます。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸にかかる患者の訴えで最も多い症状である腰痛・腰下肢痛・頚上肢痛・膝痛・五十肩などの整形外科系運動器疾患に対する正確かつ衛生的で安全な鍼灸施術を身につけるために、問診と身体診察による病能把握に基づいた具体的な治療方法の基礎を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．臨床医学各論；東洋療法学校協会編（医歯薬出版株式会社） ２．臨床医学総論；東洋療法学校協会編（医歯薬出版株式会社） ３．その他、教材・資料プリント配布
参考書	１．図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第２版；尾崎明弘著（医歯薬出版株式会社） ２．開業鍼灸師のための診察法と治療法１～５；出端昭男著（医道の日本社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験にて判断する。 ※後期期末試験は、「施術所における鍼灸臨床実習前評価試験」として実施する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（鍼灸臨床実習前評価試験試験含む）：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験（鍼灸臨床実習前評価試験試験含む）の評価を合計して60%以上により履修とする。【３年次鍼灸臨床実習前評価試験対象科目】この科目は専門分野・実習・はき適応疾患実習Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） ３年次に行う鍼灸臨床実習に必要不可欠な授業であるため、出席状況が技術の習熟度に直結するといっても過言ではありません。また、グループを組んで行う内容もあるので、欠席や遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなく、クラスメイトにも迷惑をかけます。体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45 ～13：00 ３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	１．授業ガイダンス ２．刺鍼と施灸の基本確認	刺鍼の基本を確認して衛生的で安全な刺鍼ができる。 施灸の自主トレーニング方法を理解して実践できる。	講義･実習
	2	腰痛へのアプローチ①	鍼灸適応となる腰痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた腰痛の触診を的確に行うことができる。 腰痛に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	3	腰痛へのアプローチ②		実習
	4	腰下肢痛へのアプローチ①	鍼灸適応となる腰下肢痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた腰下肢痛の触診を的確に行うことができる。 腰下肢痛に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	5	腰下肢痛へのアプローチ②		実習
	6	腰下肢痛へのアプローチ③		実習
	7	頚上肢痛へのアプローチ①	鍼灸適応となる頸肩背痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた頸肩背痛の触診を的確に行うことができる。 頚上肢痛に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	8	頚上肢痛へのアプローチ②		実習
	9	頚上肢痛へのアプローチ③		実習
	10	膝関節痛へのアプローチ①	鍼灸適応となる膝関節痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた膝関節痛の触診を的確に行うことができる。 膝関節痛に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	11	膝関節痛へのアプローチ②		実習
	12	膝関節痛へのアプローチ③		実習
	13	肩関節痛へのアプローチ①	鍼灸適応となる肩関節痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた肩関節痛の触診を的確に行うことができる。 肩関節痛に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	14	肩関節痛へのアプローチ②		実習
	15	肩関節痛へのアプローチ③		実習
	16	まとめ		実習
	17	期末（到達目標達成確認）試験	（対人刺鍼と透熱灸）	試験
	18	試験フィードバック		実習
後期	19	腰痛へのアプローチ③	鍼灸適応となる腰痛・腰下肢痛・頚上肢痛・肩関節痛・膝関節痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた腰痛・腰下肢痛・頚上肢痛・肩関節痛・膝関節痛の触診を的確に行うことができる。 腰痛・腰下肢痛・頚上肢痛・肩関節痛・膝関節痛に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。 前期で修得した技能をより修練させていく。	実習
	20	腰下肢痛へのアプローチ④		実習
	21	頚上肢痛へのアプローチ④		実習
	22	肩関節痛へのアプローチ④		実習
	23	膝関節痛へのアプローチ④		実習
	24	腰痛へのアプローチ④		実習
	25	腰下肢痛へのアプローチ⑤		実習
	26	頚上肢痛へのアプローチ⑤		実習
	27	肩関節痛へのアプローチ⑤		実習
	28	膝関節痛へのアプローチ⑤		実習
	29	上肢全般痛へのアプローチ①	鍼灸適応となる上肢症状に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた上肢の触診を確実に行うことができる。 上肢に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	30	下肢全般痛へのアプローチ①	鍼灸適応となる下肢症状に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた下肢の触診を確実に行うことができる。 下肢に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	31	スポーツ障害へのアプローチ②	鍼灸適応となるスポーツ傷害に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた罹患痛の触診を的確に行うことができる。 罹患痛に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	32	後期期末試験シミュレーション	施術所にて実施される３年次鍼灸臨床実習での鍼灸施術を衛生的で安全に行うことができる。	実習
	33	後期期末試験シミュレーション		実習
	34	後期期末試験シミュレーション		実習
	35	後期期末試験シミュレーション		実習
	36	期末（到達目標達成確認）試験	※「施術所における臨床実習前施術実技試験」として実施	試験

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　あマ指実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】応用手技実技Ｉ【応用手技実技】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	川畑　充伸 （実務経験あり） （かわはた　みつのぶ）	坂本　辰徳 （実務経験あり） （さかもと　たつのり）
単位数	1 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	実習	18 回

【授業情報】

授業概要	指圧 １年次に実施した指圧実習を基に臨床に用いられる（症状に応じた）施術をおこなうための技術を習得するための科目です。 按摩 患者の体位に応じて、安全かつ有効な施術方法を学ぶ。後期からの臨床実習に向けて、患者の症状に則した治療が出来るよう、声かけ、気遣い等も学ぶ。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	指圧 患者さんの症状等の状態に応じた指圧を総合的に行うために、部位に適した指圧術を修得する。 按摩 人体各部位に合う、安全かつ有効な按摩の手技を行うために、各部位に応じた施術法を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．按摩・マッサージ・指圧－実技編－：学校法人呉竹学園編
参考書	１．あん摩マッサージ指圧実技；東洋療法学校協会編 ２．あん摩マッサージ指圧理論；東洋療法学校協会編
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：90% ２．身だしなみなど衛生的配慮、受け手評価シート：10%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、身だしなみなど衛生的配慮、受け手評価シートの評価を合計して 60%以上により履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・あマ指実習・応用手技実技Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．基本手技を理解・体得し、自身の体に負担を掛けない施術方法を会得することが大切である。 ２．技術はすぐには身につかないので、予習と復習を必ずおこなう。 ３．デモンストレーション等、説明をしっかりと聞き、効率的な練習をする。 ４．授業は 2 人一組でおこなわれるので、欠席すると自身の修練が足りなくなるうえに、相手にも迷惑がかかる。体調管理をしっかりとおこない、欠席しない体を作る。
オフィスアワー	授業開講日の 12:45～13:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	取り扱う疾患(症状)について①	施術の適否を鑑別できる。 運動器疾患において、骨性と筋性を区別できる。 末梢神経障害の概略が説明できる。	講義
	2	取り扱う疾患(症状)について②	施術録の記入ができる。	講義 実習
	3	頸部・胸郭出口症候群・肩関節部・上肢（上半身）に対する指圧①	施術対象疾患を理解し、その疾患に対する施術（１年次の応用）ができる。	実習
	4	頸部・胸郭出口症候群・肩関節部・上肢（上半身）に対する指圧②		実習
	5	腰部・殿部・下肢（下半身）の症状対する指①		実習
	6	腰部・殿部・下肢（下半身）の症状に対する指圧②		実習
	7	自律神経系・循環器系・呼吸器系（全身）の症状に対する指圧		実習
	8	期末(到達目標達成確認)試験	身体を壊さない押圧操作が出来ているか、適切なリズムで適切な部位を押せているか確認する。	試験
	9	試験フィードバック		実習
	10	腹臥位按摩法：殿部の按摩	受け手の施術時の体位に配慮できる。 施術者の基本姿勢に配慮できる。 安全かつ適切な圧で施術ができる。	実習
	11	下肢の按摩		実習
	12	頸部、上肢の按摩		実習
	13	背臥位按摩法：頭部、顔面部の按摩		実習
	14	頸部、胸部の按摩		実習
	15	上肢の按摩		実習
	16	関節拘縮・運動麻痺の按摩		実習
	17	期末(到達目標達成確認)試験	全身の按摩、叩打、曲手	試験
	18	試験フィードバック		実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　実習　あマ指実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】応用手技実技Ⅱ【あマ指早期臨床体験実習】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	足立昌彦・相田典子・坂本辰徳 川畑充伸・田中文枝	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	実習	18 回

【授業情報】

授業概要	マッサージ実習 人体各部の疾患に応じた安全かつ有効なオイルマッサージの施術方法を学ぶ。 あマ指早期臨床体験実習 患者の体位に応じて、安全かつ有効な施術方法を学ぶ。患者の症状に則した治療が出来るよう、声かけ、気遣い等も学ぶ。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	マッサージ実習 人体各部の疾患に応じた安全かつ有効なオイルマッサージの施術を行うために、臨床応用後術を修得する。 あマ指早期臨床体験実習 １．医療施設内で従事するために、行動規範の基本を身につける。 ２．状況に応じた体位、姿勢、手技が選択するために、医療面接を含むフィジカルアセスメント、安全面を配慮した施術法のバリエーションを身につける。

【担当教員から】

教科書	１．按摩・マッサージ・指圧－実技編－：学校法人呉竹学園編
参考書	１．あん摩マッサージ指圧実技；東洋療法学校協会編 ２．あん摩マッサージ指圧理論；東洋療法学校協会編
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：90% ２．身だしなみなど衛生的配慮、受け手評価シート：10%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、身だしなみなど衛生的配慮、受け手評価シートの評価を合計して 60%以上により履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・あマ指実習・応用手技実技Ⅱの単位として認定されます。
担当教員	１．1･2年生で修得した按摩、指圧、マッサージの基本手技を、臨床応用できる技術を身につけることが大切である。 ２．施術部位を十分理解すること。 ３．実技の前に講義とデモンストレーションがあるのでノートをとりながら、話をよく聞くこと。 ４．１回だけの授業では修得は困難であるため、復習をして授業に臨むこと。 ５．本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席かつ全臨床実習への出席が必要である。 ６．授業は、講義・実習が組み合わされ、実習は２人１組にて行われるので、欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなく、組み合わせの相手にも迷惑をかけることになる。その為、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。 ７．実習では身だしなみなど衛生的配慮ができていない場合は実習に参加することができないので、十分に注意すること。
オフィスアワー	授業開講日の 12:45～13:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	下肢のマッサージ	下肢の疾患に応じたオイルマッサージができる。	実習
	2	下肢のマッサージ		実習
	3	頸部、背部、腰部のマッサージ	頸部、背部、腰部の疾患に応じたオイルマッサージができる。	実習
	4	頸部、背部、腰部のマッサージ		実習
	5	上肢のマッサージ	上肢の疾患に応じたオイルマッサージができる。	実習
	6	上肢のマッサージ		実習
	7	全身のマッサージ	制限時間内に全身のオイルマッサージができる。	実習
	8	期末(到達目標達成確認)試験	（全身のオイルマッサージ）	試験
	9	試験フィードバック	（試験における改善点の確認）	実習
	10	オリエンテーション	1. 臨床実習の意義を理解できる。 2. 医療人にふさわしい身だしなみを示すことができる。 3. 施術録の記入の仕方、施術上の注意点、臨床上の注意点を理解できる。	講義･実習
	11	臨床体験実習①	1. 臨床実習の意義を理解できる。 2. 患者、施術所スタッフ、研修生、指導者に対して、適切に挨拶と自己紹介ができる。 3. 施術録を作成することができる。 4. 受け手の施術時の体位に配慮できる。 5. 施術者の基本姿勢に配慮できる。 6. 安全かつ適切な圧で主訴に応じた施術ができる。	実習
	12	臨床体験実習②		実習
	13	臨床体験実習③		実習
	14	臨床体験実習④		実習
	15	臨床体験実習⑤		実習
	16	臨床体験実習⑥		実習
	17	臨床体験実習⑦		実習
	18	臨床体験実習⑧		実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　臨床実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床実習Ⅱ【早期臨床体験実習Ⅱ】

【基本情報】

配当年次	2 学年	主担当教員	三浦　洋 （みうら　ひろし）	
単位数	1 単位			
開講学期	通期	授業形態･回数	臨床実習	45 時間

【授業情報】

授業概要	学内の附属施術所や外部の施術所、呉竹メディカルクリニック、学外の診療所、大学附属病院などの現代西洋医学の医療施設、および介護関連施設（デイケア、デイサービス等）、スポーツ関連施設での見学実習を行う。医療・介護・スポーツ現場の見学を通じて、医療人としてのあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の役割について理解し、どのように医療に係わるべきかを学習することを目的とする。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	将来あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として自立するために、事業形態や事業内容について見学・体験をすることにより、将来の活躍の場となる自分の姿を想起し、医療人としての自覚を高める。また臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに臨床に必要な知識と技能の基本を習得する。

【担当教員から】

教科書	ー
参考書	ー
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを下記の内容を総合的に判断する。 自ら選択した全ての事業所への出席を必要とする。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．レポート提出と実習参加：100%
履修の条件 留意点	レポート提出と実習参加の評価を合計して 60%以上により履修とする。 この科目は専門分野・臨床実習・臨床実習Ⅱの単位として認定される。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．実習先での行動内容の確認や身だしなみのチェックは事前に行うこと。 ２．実習終了後は、行動や実習内容等を各自で十分に振り返り、ポートフォリオの作成を行い、後日指示に従って提出すること。 ３．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・臨床実習責任者へ連絡すること。 ４．自身の健康管理に留意すること。 ５．各自に手渡される「臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に遅れることの無いよう実習先に到着すること。
オフィスアワー	質問がある場合は、事前にご相談ください。

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1. 学外施設での見学実習 ①学外での診療所・病院での外来見学実習 ②スポーツ関連施設での見学実習 ③介護老人保健施設での見学実習 ④ｽﾎﾟｰﾂ関連ｲﾍﾞﾝﾄにおけるケアステーション活動での見学実習 1) ２～８時間/施設(ｲﾍﾞﾝﾄ)の見学実習を行う。 2) 指導者の下で、施術、一般業務を観察する。また、施設内の付帯業務の補助､状況によっては施術補助を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し提出する。 2. カンファレンス ※指導担当者が必要と判断した場合に実施する。 1) 観察・施術補助した症例あるいは与えられた課題疾患について調べる。 2) 指導者と症例あるいは課題について討論して意見交換を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し提出する。 3. 振り返り 1) 上記 1､2 で提出したポートフォリオから指定された課題についてＫＪ法により各自抽出し､グループ内で共通事項をまとめる。 2) 課題について発表する。 3) 討論して意見交換を行う。	・早期臨床体験実習Ⅱの意義と目的を理解できる。 ・能動的・積極的な姿勢で実習に参加できる。 ・体験して感じたこと振り返り、考える習慣を身につけることができる。 ・医療人として相応しい行動を実践できる。 ・各施設の役割、地域における医療・福祉体制を理解できる。 ・患者、利用者、参加者、家族、スタッフと積極的かつ適切なコミュニケーションを図ることができる。 ・患者、利用者、参加者、家族、スタッフに対し、適切な接遇・共感的な態度を表現できる。 ・各施設・現場の専門家・スタッフの役割を理解し、共に働く意識を涵養できる。 ・医療者・患者・利用者関係における多様なコミュニケーションの重要性について討議できる。	臨床実習又は演習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　臨床実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床実習Ⅲ【外部施設臨床実習】

【基本情報】

配当年次	2 学年	主臨床実習調整者	西岡 岳之 （にしおか　たけゆき）	
単位数	1 単位			
開講学期	通期	授業形態･回数	臨床実習	45 時間

【授業情報】

授業概要	市中のあはき治療院での見学実習を行う。医療人としてのあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の役割について理解し、どのように施術に係わるべきかを学習することを目的とする。 実務経験のある臨床実習指導者講習会修了の開業鍼灸師の指導のもと臨床実習を行う。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	将来あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として自立するために、事業形態や事業内容について見学・体験をすることにより、将来の活躍の場となる自分の姿を想起し、医療人としての自覚を高める。また臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに臨床に必要な知識と技能の基本を習得する。

【担当教員から】

教科書	―
参考書	―
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを下記の内容を総合的に判断する。 自ら選択した全ての事業所への出席を必要とする。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．レポート提出と実習参加：100%
履修の条件 留意点	レポート提出と実習参加の評価を合計して 60%以上により履修とする。 この科目は専門分野・臨床実習・臨床実習Ⅲの単位として認定される。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．実習先での行動内容の確認や身だしなみのチェックは事前に行うこと。 ２．実習終了後は、行動や実習内容等を各自で十分に振り返り、ポートフォリオの作成を行い、後日指示に従って提出すること。 ３．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・臨床実習責任者へ連絡すること。 ４．自身の健康管理に留意すること。 ５．各自に手渡される「臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に遅れることの無いよう実習先に到着すること。
オフィスアワー	質問がある場合は、事前にご相談ください。

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1. 事前カンファレンス 1) 市中施術所について、紹介動画、ホームページなどで事前学習をする。（外観、１日の業務の流れ、施術法や治療機器など） 2) 事前学習をもとに、自らの将来像を考え、実習先を選択する。 3) 実習の注意点、持ち物、レポート課題、緊急時の連絡を確認する。 2. 市中施術所での見学実習 1) ４～８時間/施設の実習を行う。 2) 指導者の下で、施術、業務を観察する。また、施術所内の付帯業務の補助、状況によっては施術補助を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し提出する。 3. カンファレンス ※指導担当者が必要と判断した場合に実施する。 1) 観察・施術補助した症例あるいは与えられた課題疾患について調べる。 2) 指導者と症例あるいは課題について討論して意見交換を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し提出する。 4. 振り返り 提出したポートフォリオを学内の臨床実習担当者と意見交換し評価を受ける。	・外部施設臨床実習の意義と目的を理解できる。 ・能動的・積極的な姿勢で実習に参加できる。 ・体験して感じたこと振り返り、考える習慣を身につけることができる。 ・医療人として相応しい行動を実践できる。 ・各施設の役割、地域における医療・福祉体制を理解できる。 ・患者、利用者、参加者、家族、スタッフと積極的かつ適切なコミュニケーションを図ることができる。 ・患者、利用者、参加者、家族、スタッフに対し、適切な接遇・共感的な態度を表現できる。 ・各施設・現場の専門家・スタッフの役割を理解し、共に働く意識を涵養できる。 ・医療者・患者・利用者関係における多様なコミュニケーションの重要性について討議できる。	臨床実習又は演習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅱ【医学史（あはき史を含む）とあはきの展望】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	稲葉　千里 （いなば　ちさと）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	中国医学史、西洋医学史、日本医学史を学び、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう（以下、あはき）の歴史を日本と諸外国の歴史とを比較しながら学んでいく。また、医療従事者としての自覚と責任感を持てるよう、職業倫理を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	代替医療や統合医療におけるあはきの位置づけや役割を理解し、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師としてわが国の衛生状態の向上の一助となるために、医療の歴史についての知識を習得する。

【担当教員から】

教科書	１．「医療概論」；東洋療法学校協会編，医歯薬出版（株） ２．「衛生学・公衆衛生学」第２版；東洋療法学校協会編，医歯薬出版（株） ３．「新版 東洋医学概論」；東洋療法学校協会編，医歯薬出版（株）
参考書	１．「医学史への誘い」；酒井シヅ著，診療新社 ２．「社会あはき学」；東洋療法学校協会編，医道の日本社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末（到達目標達成確認）試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	期末（到達目標達成確認）試験の評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．HR にて教科書や配布プリント等を用いて、講義形式で行います。 ２．授業ではノートを取ったり、プリントに記入したりしながら、話をよく聴いてください。 ３．授業中は机上に飲み物や食べ物を置かないでください。 ４．携帯電話の電源は切ってください。どうしても携帯電話の使用が必要な場合は申し出てください。 ５．欠席した場合の配付資料はクラスメートにもらってもらうか、次の授業までに教員室にもらいに来てください。
オフィスアワー	授業開講日の 12:45～13:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	中国の医学史①	鍼・灸・按摩・湯液の起源を述べられる。 夏～春秋時代から清の時代以降までの中国における医学の歴史を説明できる。	講義
	2	中国の医学史②		講義
	3	日本の医学史①	奈良時代以前から明治時代以降のわが国の医学の歴史を説明できる。 わが国のあはきの歴史を説明できる。	講義
	4	日本の医学史②		講義
	5	あはきの歴史	わが国に渡ってから発展した鍼術、灸術の歴史を説明できる。 わが国に渡ってから発展したあん摩術、マッサージ術の歴史を説明できる。 指圧の歴史を説明できる。	講義
	6	西洋医学史①	古代ギリシャ・ローマ時代から近代ヨーロッパにおける医学の歴史を説明できる。	講義
	7	西洋医学史②		講義
	8	西洋医学史③		講義
	9	代替医療・統合医療	代替医療・統合医療の概要を理解することができる。	講義
	10	医療連携について	地域包括ケアシステムの概要を理解することができる。 地域における医療との連携の重要性を理解することができる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】形態機能学Ⅲ【人体構造学演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	武井 良之 （たけい　よしゆき）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 期	授業形態･回数	講義演習	36 回

【授業情報】

授業概要	生体の構造機能を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な構造機能が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な構造機能を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の機能について理解するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	１.「解剖学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験、卒業試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験・卒業試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、卒業試験を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅲ・人体構造学演習の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1 期	1	細胞の構造・細胞分裂と遺伝子	細胞の構造と細胞分裂・遺伝子について説明することができる	講義
	2	組織１（上皮組織）	上皮組織について器官ごとの特徴を説明することができる	講義
	3	組織２（結合組織）	結合組織について器官ごとの特徴を説明することができる	講義
	4	組織３（筋組織）	平滑筋・骨格筋・心筋の特徴を説明することができる	講義
	5	組織４（神経組織）	中枢神経・末梢神経の特徴を概説することができる	講義
	6	感覚器系	感覚器（視覚器・平衡聴覚器・皮膚）について概説できる	講義
	7	内臓器総論	中腔性臓器・実質性臓器について器官ごとの特徴を説明できる	講義
	8	運動器系１	体幹の骨・筋・神経・循環・運動について概説できる	講義
	9	運動器系２	上肢の骨・筋・神経・循環・運動について概説できる	試験
	10	運動器系３	下肢の骨・筋・神経・循環・運動について概説できる	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	
2 期	13	循環器系の構造１	血管系概論・心臓について説明できる	講義演習
	14	循環器系の構造２	動脈系・静脈系・リンパ系・胎児循環について説明できる	講義演習
	15	呼吸器系の構造	呼吸器系（鼻腔・喉頭・気管・肺）について説明できる	講義演習
	16	消化器系の構造１	消化器系（中腔性臓器）について説明できる	講義演習
	17	消化器系構造２	消化器系（実質性臓器）について説明できる	講義演習
	18	泌尿器系の構造	泌尿器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）について説明できる	講義演習
	19	生殖器系の構造	男性生殖器・女性生殖器について説明できる	講義演習
	20	内分泌系の構造	内分泌器系について説明できる	講義演習
	21	感覚器系の構造	感覚器系について説明できる	講義演習
	22	体幹部の構造	体幹の運動器について説明できる	講義演習
	23	上肢の構造	上肢の運動器について説明できる	講義演習
3 期	24	下肢の構造	下肢の運動器について説明できる	講義演習
	25	頭部・頸部の構造	顔面部・頸部の運動器について説明できる	講義演習
		到達目標達成試験 （一次卒業試験）		試験
	26	試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	
	27	問題演習①	四者択一の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	28	問題演習②		演習
	29	問題演習③		演習
	30	問題演習④		演習
	31	問題演習⑤		演習
	32	問題演習⑥		演習
	33	問題演習⑦		演習
		到達目標達成試験 （二次卒業試験）		試験
	34	試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	
	35	まとめ演習１	四者択一の解答を導き出すことができる。	演習
	36	まとめ演習２		演習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】形態機能学Ⅳ【人体機能学演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	坂本 收司 （　さかもと　しゅうじ　）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義演習	36 回

【授業情報】

授業概要	生体の機能を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な機能が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な機能を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の機能について学習するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	１.「生理学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「標準生理学」　医学書院 ２.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験、卒業試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験の成績(卒業試験含む)：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、卒業試験を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅳ・人体機能学演習の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1 期	1	身体活動の協調１	生体の適応・ホメオスタシス・循環調節・体液・血糖値・体温・バイオリズムについて各器官系について説明できる	講義
	2	身体活動の協調２		講義
	3	身体活動の協調３		講義
	4	生体の防御機構１	生体の防御機構について説明できる	講義
	5	生体の防御機構２		講義
	6	代謝１	ＡＴＰ産生の過程と運動の仕組みを説明できる	講義
	7	代謝２	栄養・代謝・産熱について説明できる	講義
	8	神経１	神経系の機能を説明できる	講義
	9	神経２		試験
	10	神経３		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答・まとめ	到達目標を達成するために各自で評価を行う	実習
2 期	13	生理学の基礎	体液のｐＨ・浸透圧について各器官の働きを説明できる	講義演習
	14	循環のしくみ１	血液と循環器系の働きを説明できる	講義演習
	15	循環のしくみ２		
	16	呼吸のしくみ	呼吸器系の働きを説明できる	講義演習
	17	消化と吸収のしくみ	消化器系の働きを説明できる	講義演習
	18	腎臓のはたらき	泌尿器系の働きを説明できる	講義演習
	19	内分泌のはたらき	内分泌系の働きを説明できる	講義演習
	20	神経のはたらき１	中枢神経系・末梢神経系の働きを説明できる	講義演習
	21	神経のはたらき２		講義演習
	22	運動１	筋と運動のしくみを説明できる	講義演習
	23	運動２		講義演習
3 期	24	感覚１	感覚について説明できる	講義演習
	25	感覚２		講義演習
		到達目標達成試験 （一次卒業試験）		試験
	26	試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	実習
	27	問題演習①	四者択一の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	28	問題演習②		演習
	29	問題演習③		演習
	30	問題演習④		演習
	31	問題演習⑤		演習
	32	問題演習⑥		演習
	33	問題演習⑦		演習
		到達目標達成試験 （二次卒業試験）		
	34	試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	実習
	35	まとめ演習１	四者択一の解答を導き出すことができる	演習
	36	まとめ演習２		

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床医学Ⅱ【病理学概論】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	山本　寛 （　やまもと　ひろし）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	病理学とは、生体に起こる病的な状態、すなわち疾病の本態を解明する学問です。疾病はその成り立ちから、先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍の五つの病変カテゴリーに分類されますが、それらの病変カテゴリーを学び、疾病を起こす原因、それぞれの疾病で生じる変化、その経過、疾病がたどる転帰を総合的にとらえるように学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	疾病の全体像、すなわち原因、経過、治療法、予後、および結末を総合的に理解するために、疾病における形態と機能の変化、および本態を学習する。

【担当教員から】

教科書	１.「病理学概論」第２版；東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株)
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験評価で60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進・臨床医学Ⅱの単位として認定されます。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くことに努めてください。疾病各論の基礎となる科目ですので、各論の理解のためにも充分な学習が必要です。そのためにも、教科書は講義内容が理解できるようによく読んで準備してください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1期	1	病理学とはどのような学問か 疾病についての基本的な考え方 病因①　内因（素因・遺伝・内分泌・免疫・心因性疾患）	病理学とはどのような学問かを理解できる。 疾病についての基本的な考え方を説明できる。 内因についてそれぞれ説明できる。	講義
	2	免疫異常・アレルギー 1）免疫の一般　2）液性免疫と細胞性免疫　3）アレルギーの分類　4）免疫不全　5）自己免疫疾患	免疫異常・アレルギーについてそれぞれ説明できる。	講義
	3	病因②　外因 1）栄養素の供給障害 2）物理的病因　3）化学的病因 4）生物学的病因　5）小児の疾患	外因についてそれぞれ説明できる。	講義
	4	循環障害① 1）ヒトの循環器系　2）充血・うっ血 3）貧血・虚血　4）出血	循環障害についてそれぞれ説明できる。	講義
	5	循環障害② 5）血栓症　6）塞栓症　7）梗塞 8）水腫・浮腫・脱水　9）ショック		講義
	6	退行性病変 1）　萎縮　2）変性　3）壊死と死 進行性病変 1）肥大と増殖　2）再生　3）化生 4）移植　5）創傷治癒・組織内異物の処理	退行性病変についてそれぞれ説明できる。 進行性病変についてそれぞれ説明できる。	講義
	7	炎症 1）炎症の一般　2）炎症の分類	炎症についてそれぞれ説明できる。	講義
	8	腫瘍①　1）腫瘍の一般	腫瘍についてそれぞれ説明できる。	講義
	9	腫瘍②　2）良性腫瘍　3）悪性腫瘍		講義
	10	先天性異常 1）先天性異常総論 2）遺伝性疾患　3）染色体異常	先天性異常について説明できる。 遺伝性疾患について説明できる。 染色体異常について説明できる。	講義
	11	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床医学Ⅲ【臨床医学各論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	池崎 園江 （いけざき　そのえ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2～3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「臨床医学各論」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、臨床医学各論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「臨床医学各論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される卒業試験の「臨床医学各論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・臨床医学Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「臨床医学各論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	感染症のまとめ	感染症について概説できる。	講義・演習
	2	消化器疾患のまとめ①	消化器疾患について概説できる。	講義・演習
	3	消化器疾患のまとめ②		講義・演習
	4	呼吸器疾患のまとめ	呼吸器疾患について概説できる。	講義・演習
	5	循環器疾患のまとめ	循環器疾患について概説できる。	講義・演習
	6	内分泌・アレルギー疾患のまとめ①	内分泌について概説できる。 アレルギー疾患について概説できる。	講義・演習
	7	内分泌・アレルギー疾患のまとめ②		講義・演習
	8	腎・尿路疾患のまとめ	腎・尿路疾患について概説できる。	講義・演習
	9	神経系疾患のまとめ①	神経系疾患について概説できる。	講義・演習
	10	神経系疾患のまとめ②		講義・演習
	11	運動器疾患のまとめ①	運動器疾患について概説できる。	講義・演習
	12	運動器疾患のまとめ②		講義・演習
	13	外科総論のまとめ	外科総論について概説できる。	講義・演習
	14	麻酔・ペインクリニックのまとめ	麻酔・ペインクリニックについて概説できる。	講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床医学Ⅳ【臨床医学総論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	三浦　洋 （みうら　ひろし）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「臨床医学総論」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、臨床医学総論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される卒業試験の「臨床医学総論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される卒業試験の「臨床医学総論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・臨床医学Ⅳの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「臨床医学総論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	診察の概要・診察の方法	診察の概要・診察の方法について概説できる。	講義・演習
	2	生命徴候の診察	生命徴候(バイタルサイン)について概説できる。	講義・演習
	3	全身の診察①	顔貌について概説できる。 精神状態について概説できる。 言語の理解や発語について概説できる。 身体計測、身体状況について概説できる。 姿勢・体位・歩行について概説できる。 体表の診察について概説できる。	講義・演習
	4	全身の診察②		講義・演習
	5	全身の診察③		講義・演習
	6	局所の診察①	頭部から趾先まで各局所の診察についてそれぞれ概説できる。	講義・演習
	7	局所の診察②		講義・演習
	8	神経系の診察①	神経系の診察（各種検査法）について概説できる。	講義・演習
	9	神経系の診察②		講義・演習
	10	神経系の診察③		講義・演習
	11	運動機能検査	運動機能検査について概説できる。	講義・演習
	12	その他の診察	一般検査について概説できる。 血液生化学検査について概説できる。 生理学的検査について概説できる。 画像診断の概要について概説できる。	講義・演習
	13	臨床検査法	臨床検査法について概説できる。	講義・演習
	14	治療学	治療法の種類について概説できる。 各種療法について概説できる。	講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】疾病治療論Ⅱ【リハビリテーション医学概論Ⅱ】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	福本　彩季 （ふくもと　あき）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	リハビリテーションは運動機能、日常生活活動の能力の障害を回復させ、社会・環境への適応を促進するために必要な第４の医学と呼ばれる。ここでは、リハビリテーション医学を理解し、障害と障害者への対応の概念を疾患別に学ぶ。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	リハビリテーションの概念を理解するために、疾患別の障害の定義、分類について習得する。

【担当教員から】

教科書	１.『リハビリテーション医学』学校協会編
参考書	１.『標準リハビリテーション医学』医学書院 ２.『理学療法ハンドブック』協同医書出版社 ３.『障害と活動の測定・評価ハンドブック』南江堂
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進・疾病治療論Ⅱ・リハビリテーション医学Ⅱの単位として認定されます。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） リハビリテーション医学は「人間たるにふさわしい状態になる」という意味です。中世では「名誉の回復」という法律用語として使用されてきました。従って、本学問は「人間たるにふさわしい状態になる」ために行うアプローチ（対応）の体系です。疾病や障害によって、出来ないことできるようになるといった単なる機能の回復という狭い意味ではなく、権利・資格・名誉の回復など人間らしく生きる権利の回復を目指すものです。 本科目を通じて、疾病や障害をもちながらもそこで生活する「その人」とどう関わり、その関わりから何を学ぶかをという基本姿勢を軸に学習してください。 また、授業毎に前回授業分の小テストを実施し、授業の習熟度を確認します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1期	1	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	脳卒中のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	2	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	脳卒中のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	3	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	脊髄損傷のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	4	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	脊髄損傷のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	5	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	切断のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	6	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	小児のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	7	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	小児のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	8	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	パーキンソン病のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	9	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	呼吸器疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	10	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	心疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門基礎分野 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】疾病治療論Ⅲ【リハビリテーション医学概論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	福本　彩季 （ふくもと　あき）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「リハビリテーション医学概論Ⅰ・Ⅱ」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、リハビリテーション医学について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	『リハビリテーション医学』東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	『標準リハビリテーション医学』医学書院
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される卒業試験の「リハビリテーション医学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される卒業試験の「リハビリテーション医学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・疾病治療論Ⅱ・リハビリテーション医学概論演習の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「リハビリテーション医学概論Ⅰ・Ⅱ」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	リハビリテーションの概要	リハビリテーションの基本理念について概説できる。 国際生活機能分類について概説できる。	講義・演習
	2	リハビリテーション医学と医療	リハビリテーション医学の概要について概説できる。	講義・演習
	3	障害の評価①	心身機能・身体構造の評価について概説できる。 活動の評価について概説できる。 合併症の評価について概説できる。 運動年齢テストについて概説できる。 高次脳機能評価について概説できる。 摂食嚥下障害の評価について概説できる。	講義・演習
	4	障害の評価②		講義・演習
	5	医学的リハビリテーション	理学療法について概説できる。 作業療法について概説できる。 言語聴覚療法について概説できる。 装具療法について概説できる。	講義・演習
	6	脳卒中のリハビリテーション	脳卒中のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	7	脊髄損傷のリハビリテーション	脊髄損傷のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	8	切断のリハビリテーション	切断のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	9	小児のリハビリテーション	小児のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	10	骨関節疾患、関節リウマチのリハビリテーション	骨関節疾患のリハビリテーションについて概説できる。 関節リウマチのリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	11	末梢神経障害のリハビリテーション	末梢神経障害のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	12	パーキンソン病、呼吸器、心疾患のリハビリテーション	パーキンソン病のリハビリテーションについて概説できる。 呼吸器のリハビリテーションについて概説できる。 心疾患のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	13	運動学の基礎、身体各部の機能	運動学の基礎について概説できる。 身体各部の機能について概説できる。	講義・演習
	14	正常歩行と異常歩行	正常歩行について概説できる。 異常歩行について概説できる。	講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

【科目】あはき理論Ⅱ【あはき理論Ⅱ】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	川畑　充伸 （かわはた　みつのぶ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸刺激に対する生体の反応を学ぶことで鍼灸施術の治効を理解する。刺激に対する感受性、反応（反射）、などの自然治癒力にかかわる西洋医学的な生体メカニズムを理解する
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	鍼灸施術の刺激に対する生体反応理解するために、治効メカニズムを学修する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版（株）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期（到達目標達成確認）試験：100%
履修の条件 留意点	定期（到達目標達成確認）試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床あん摩マッサージ指圧学・臨床はり学・臨床きゅう学・治効理論Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。 なお、本科目の単位取得のためには、授業の70%以上の出席が必要ですので、体調管理をしっかり行い、出欠には十分に留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	鍼灸療法の一般治効理論① 1)自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響	自律神経の概要について説明できる。 自律神経の化学的伝達と受容体について説明できる。 血管の自律神経性調節機構について説明できる。	講義
	2	鍼灸療法の一般治効理論② 2)鍼灸の血流に及ぼす影響 3)鍼灸刺激とポリモーダル受容器	鍼灸の血流に及ぼす影響について説明できる。 鍼灸刺激とポリモーダル受容器について説明できる。	講義
	3	鍼灸療法の一般治効理論③ 4)生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響①	灸療法と炎症について、関連と違いを説明できる。 炎症反応と各種メディエーターについて、反応を理解し、産生物等を説明できる。	講義
	4	鍼灸療法の一般治効理論④ 4)生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響②	各灸術による生体防御機構に及ぼす影響について説明できる。 鍼刺激による免疫系への影響について説明できる。	講義
	5	鍼灸療法の一般治効理論⑤ 5)鍼灸刺激と神経系・内分泌系・免疫系の相互作用	鍼灸刺激と神経系・内分泌系・免疫系の相互作用について説明できる。	講義
	6	関連学説 1)ｻｲﾊﾞﾈﾃｨｯｸｽ 2)ﾎﾒｵｽﾀｼｽ 3)ｽﾄﾚｽ学説 4)ﾎﾒｵｽﾀｼｽ 5)圧発汗反射	サイバネティックスについて説明できる。 ホメオスタシスについて説明できる。 緊急反応について説明できる。 ストレス学説(汎適応症候群)について説明できる。 レイリー現象(過剰刺激症候群) について説明できる。 圧発汗反射(交叉性交感神経反射)の学説について説明できる。	講義
	7	あマ指の生体に及ぼす作用 運動法の生体に及ぼす作用、按摩・マッサージ・指圧の治療効果	あマ指が各組織・器官に及ぼす作用について概説できる。 運動法が生体に及ぼす作用について概説できる。 按マ指の治療効果について概説できる。	講義
	8	あマ指と東洋医学	あマ指の基本手技について概説できる。 古法按摩と導引について概説できる。	講義
	9	あマ指の応用分野	運動法・結合織マッサージ・リンパドレナージについて概説できる。 あマ指がどのような分野で用いられているかについて概説できる。 併用する物理療法の効果と相乗効果について概説できる。	講義
	10	あマ指の臨床応用とリスク管理 あマ指治効の基礎	按マ指の適応疾患（症状）と禁忌疾患（症状）について概説できる。 按マ指のリスク管理について概説できる。 あマ指治効の基礎について概説できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答まとめ		講義

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門分野 臨床あん摩マッサージ指圧学臨床はり学臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】あはき臨床診察学Ⅳ【あはき診察学Ⅱ（臨床医学各論Ⅱ）】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	池崎 園江 （いけざき　そのえ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	あはき臨床でも遭遇する疾患のあはき治療の適応と不適応の鑑別ができる能力を取得するために、各疾患の概念、原因、主症状、検査所見、予後について学習していく。 また、臨床に必要な診察および治療に関する医学知識ならびに技能の概要を理解する。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	あはき臨床において遭遇する不適応を判定できる能力を習得するために、不適応疾患の特徴や病歴聴取のポイントを理解する。 また、診察学の概要を理解し、診察の方法と応用を概説できる。

【担当教員から】

教科書	１．「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	１．「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験により評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床あん摩マッサージ指圧学・臨床はり学・臨床きゅう学・あはき臨床診察学Ⅳの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業内容は実技科目と臨床実習が関連するため、積極的な学習姿勢が望まれます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1期	1	神経疾患①	主な神経疾患（脳血管疾患、感染性疾患、脳・脊髄腫瘍、変性疾患、認知症性疾患、筋疾患、運動ニューロン疾患、末梢神経性疾患、神経痛、機能性疾患）について説明できる。	講義
	2	神経疾患②	神経系の診察（各種検査法）について概説できる。	講義
	3	神経疾患③	運動機能検査について概説できる。	講義
	4	神経疾患④		講義
	5	リウマチ性疾患・膠原病①	主なリウマチ性疾患について説明できる。 リウマチ性疾患に関する上肢の診察について説明できる。 免疫血清学的検査について説明できる。	講義
	6	膠原病②		講義
	7	膠原病③		講義
	8	一般外科（損傷概論・ショック）、麻酔科（全身麻酔・局所麻酔・ペインクリニック）	損傷概論について説明できる。 ショックについて説明できる。 救急処置・救急蘇生法について説明できる。 全身麻酔について説明できる。 局所麻酔について説明できる。 ペインクリニックについて説明できる。 バイタルサインについて概説できる。	講義
	9	婦人科疾患（子宮筋腫・子宮癌・乳癌・更年期障害） 皮膚科（接触性皮膚炎・じんま疹・アトピー性皮膚炎） 眼科（目の診察・結膜炎・角膜炎・麦粒腫（ものもらい）・白内障・緑内障） 耳鼻科（メニエール病・中耳炎・突発性難聴・アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎）	子宮筋腫、子宮癌、乳癌、更年期障害についてそれぞれ説明できる。 接触性皮膚炎、じんま疹、アトピー性皮膚炎についてそれぞれ説明できる。 目の診察、結膜炎、角膜炎、麦粒腫（ものもらい）、白内障、緑内障についてそれぞれ説明できる。 メニエール病、中耳炎、突発性難聴、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎についてそれぞれ説明できる。	講義
	10	小児科 精神科（神経症・統合失調症・躁鬱病（気分障害）） 心療内科（心身症・神経性食思不振症・神経性過食症）	主な小児科疾患について説明できる。 神経症について説明できる。 統合失調症について説明できる。 躁鬱病（気分障害）について説明できる。 心身症、神経性食思不振症、神経性過食症についてそれぞれ説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2021 年度　Ｉ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　社会あん摩マッサージ指圧学、社会はり学、社会きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】社会あはき学Ｉ【社会あはき学】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	足立　昌彦 （あだち　まさひこ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	現代社会において、特に高齢者、子ども、女性、スポーツ傷害に対するあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の業務、役割、特有な疾患の治療について概説します。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	現代社会において鍼灸、按摩・マッサージ･指圧治療の需要が増えている高齢者、子ども、女性、スポーツ傷害の治療に対応するために、その世代や状況にみられる身体の特徴や特有な疾患について学び、安全かつ有効に治療するための知識を習得する。

【担当教員から】

教科書	１．社会あはき学：東洋療法学校協会　編 ２．東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉：東洋療法学校協会　編
参考書	１．『コメディカルのための専門基礎分野テキスト』老年医学：中外医学社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・社会あはき学Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。 ２．授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 ３．東洋医学・現代医学の両側面から授業を行うことがあるので、混同しないように注意して下さい。 ４．体調管理をしっかりと行い、授業の出席には十分留意して下さい。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1期	1	高齢社会におけるあはき師の役割①	高齢者特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	2	高齢社会におけるあはき師の役割②		講義
	3	高齢社会におけるあはき師の役割③		講義
	4	スポーツ傷害に対するあはき師の役割①	身体各部のスポーツ傷害の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	5	スポーツ傷害に対するあはき師の役割②		講義
	6	スポーツ傷害に対するあはき師の役割③		講義
	7	小児の健康管理	小児特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	8	女性の健康管理①	女性特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	9	女性の健康管理②		講義
	10	女性の健康管理③		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】専門分野　社会あん摩マッサージ指圧学、社会はり学、社会きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】社会あはき学Ⅱ【関係法規】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	大三川　万起子 （おおみかわ　まきこ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師という医療従事者としてわが国で活動していく上で必要な法律「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（以下、あはき法）」上の規定を学んでいく。例えば、免許を申請するにはどのような書類が必要か、臨床の場である施術所に必要とされる基準は何か、広告の違反などに対する罰則を取り上げる。また医療の一翼を担う者として、医療法・医薬品医療機器等・医師法など私達を取り巻く医療関係の法規を学ぶ。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	免許を与えられて施術を行う責任感を持てるように、あはき法や他の医療関係者の法規、医療関係の法規について理解する。

【担当教員から】

教科書	1．「関係法規」第７版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験評価で 60%以上で履修とする。 この科目は専門分野・社会あん摩マッサージ指圧学、社会はり学、社会きゅう学・社会あはき学Ⅱ・関係法規の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くことに努めてください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	わが国の法の体系	わが国の法規を優先順位の高いものから並べ、概説できる。	講義
	2	あはき法①	あはき法による免許について概説できる。 あはき師として行える業務と行えない業務を説明できる。 あはきの施術所の構造設備・届出・行政指導について説明できる。 出張専業や滞在業務の届出について概説できる。 あはき法による広告の制限について説明できる。 あはき師に関わる罰金について説明できる。	講義
	3	あはき法②		講義
	4	あはき法③		講義
	5	あはき法④		講義
	6	あはき法⑤		講義
	7	あはき法⑥		講義
	8	医師法・その他の医療関係者の身分法	医師法について説明できる。 その他の医療関係者の身分法を挙げ、概説できる。	講義
	9	医療法	医療法により規定されている医療施設を挙げ、概説できる。	講義
	10	医薬品医療機器等	医薬品医療機器等が規定しているものを挙げ、概説できる。 医薬品を分類できる。	講義
	11	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	12	期末試験の解説・解答まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　実習　鍼灸実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき適応疾患実習Ⅱ【はき適応疾患実習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	池崎 園江　（実務経験あり）	
単位数	2 単位		（いけざき　そのえ）	
開講学期	前・後期	授業形態･回数	講義・実習	36 回

【授業情報】

授業概要	最終学年での応用実技授業として、臨床に出た際に直ぐに使える技術の習得を目指す授業です。２年までの基本的な技術を踏まえて、種々の症候・疾患を想定して具体的な治療を実践するために開業または病院勤務されている教員・講師に教授してもらいます。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	臨床に出た際に直ぐに使える技術を習得するために、基礎理論をふまえて各疾患に対し、診察・診断・治療ができる。

【担当教員から】

教科書	１.『東洋医学臨床論　はりきゅう編』; 東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１.『臨床医学各論』; 東洋療法学校協会編（医師薬出版株式会社） ２.『臨床医学総論』; 東洋療法学校協会編（医師薬出版株式会社） 他、授業内で適宜提示します。
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験にて判断する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・鍼灸実習・はき適応疾患実習Ⅱの単位として認定されます。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業は各疾患に対し、現代医学と東洋医学両方の内容から行います。 『臨床医学各論』、『臨床医学総論』『東洋医学臨床論』などを参考に行います。授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 また、東洋医学的考察と現代医学的考察の両方を用います、混同しないようにしてください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期 後期	1	頭痛①	頭痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。 頭痛に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	2	頭痛②		
	3	耳鳴り・目眩・難聴①	耳鳴り･目眩･難聴に対する基本的な診察を行うことが出来る。 耳鳴り・目眩・難聴に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	4	耳鳴り・目眩・難聴②		
	5	眼精疲労・眼痛	眼精疲労・眼痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。 眼精疲労・眼痛に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	6	顔面神経麻痺	顔面神経麻痺に対する基本的な診察を行うことが出来る。 顔面神経麻痺に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	7	顔面痛	顔面痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。 顔面痛に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	8	鼻閉・鼻汁	鼻閉・鼻汁に対する基本的な診察を行うことが出来る。 鼻閉・鼻汁に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	9	咳嗽・喉の痛み	咳嗽・喉の痛みに対する基本的な診察を行うことが出来る。 咳嗽・喉の痛みに対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	10	歯痛	歯痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。 歯痛に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	11	腹痛・悪心嘔吐①	腹痛・悪心嘔吐に対する基本的な診察を行うことが出来る。 腹痛・悪心嘔吐に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	12	腹痛・悪心嘔吐②		
	13	食欲不振	食欲不振に対する基本的な診察を行うことが出来る。 食欲不振に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	14	下痢・便秘①	下痢・便秘に対する基本的な診察を行うことが出来る。 下痢・便秘に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	15	下痢・便秘②		
	16	まとめ		講義･実習
	17	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	18	期末試験の講評　まとめ		講義･実習
	19	婦人科疾患①	婦人科疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 婦人科疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	20	婦人科疾患②		
	21	婦人科疾患③		
	22	アレルギー疾患①	アレルギー疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 アレルギー疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	23	アレルギー疾患②		
	24	高血圧・低血圧	高血圧・低血圧に対する基本的な診察を行うことが出来る。 高血圧・低血圧に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	25	皮膚疾患①	皮膚疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 皮膚疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	26	皮膚疾患②		
	27	泌尿器疾患(排尿困難･頻尿など)①	泌尿器症状に対する基本的な診察を行うことが出来る。 泌尿器症状に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	28	泌尿器疾患(排尿困難･頻尿など)②		
	29	不眠症①	不眠症に対する基本的な診察を行うことが出来る。 不眠症に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	30	不眠症②		
	31	倦怠感・疲労	倦怠感・疲労に対する基本的な診察を行うことが出来る。 倦怠感・疲労に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	32	高齢者疾患	高齢者疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 高齢者疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	33	小児疾患	小児疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 小児疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	34	まとめ		講義･実習
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の講評　まとめ		講義･実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　臨床実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床実習Ⅳ【あはき臨床実習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	三浦　洋・足立昌彦・相田典子 坂本辰徳・川畑充伸・田中文枝・ 島田　和樹	
単位数	1 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	臨床実習	45 時間

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、あはき施術における基本的臨床能力を想起させるために付属施術所内にて臨床実習を行う。 ２年次までに学んだ知識や技能を、附属施術所に通われている一般患者に対して、学生が診療チームの一員として参加し、教員・臨床実習指導者の指導のもとに許容される一定範囲のあはき施術を行い、将来あはき師となるために必要な知識、技能、態度を修得することを目指すものである。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師としての自立に向け、施術チームの一員として教員の指導・監督の下、外来患者の診察、あはき治療の適不適の鑑別、治療計画、基本的治療技能、診療録への記録を含む患者マネジメントを実践し、臨床に携わる者としての態度、ならびに臨床能力の基礎を理解する。

【担当教員から】

教科書	―
参考書	―
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） ベッドサイド実習：100%
履修の条件 留意点	本科目の単位取得のためには、全出席が必要です。欠席、遅刻や早退などは認められないので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。この科目は専門分野・臨床実習Ⅳ・あはき臨床実習の単位として認定されます。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．附属施術所での行動内容の確認や身だしなみのチェックをグループ内で行うこと。 ２．施術所で行う臨床実習での遅刻は欠席扱いとします。また、この科目は出席を重視しますので、１回の欠席は通常の２～３倍の総合評価の減点につながりますので、十分に自身の健康管理に留意すること。 ３．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・担当教員へ連絡すること。 ４．重要掲示板または教室に掲示する「臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に出席すること。
オフィスアワー	適宜３F 教員室を訪ねること。

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1. 身体診察方法振り返り 1)模擬患者を相手に身体診察(徒手検査法を含む)を行う。 2)身体診察の要点をまとめる。 3)お互いに徒手検査を行う。 2. ロールプレイ実習 1)小グループごとに模擬症例課題（腰下肢･頚肩腕･肩関節･膝関節)のロールプレイ(①医療面接･問診項目、②医療面接･問診結果からの予測、③身体診察結果予測、④最終的病態把握）を行う。 2)チューター(教員)と課題ごとに討論して、課題を解決していく。 3. 施術所における臨床実習 1)小グループによるローテーションとする。 2)指導教員の下で、施術所一般患者の施術、施術前後の付帯業務を行う。また、状況によっては施術補助を行う。 3)毎回カルテの下書きを作成し、不明な点を調べて加筆した後、施術所カルテへ記録する。カルテの書き方は SOAP 方式に沿って記載する。	1) 診療を通して患者と良好な人間関係を確立することができる。 2) 患者の抱える問題点に共感することができる。 3) 面接所見をもとに、患者の抱える問題点に対する身体診察を実施できる。 4) 受け持ち患者の抱える問題点に対する治療の適否判断し、施術計画の立案、治療穴の選定ができる。 5) 患者に対し、インフォームド･コンセントが行える。 6) 患者に不快な思いを与えずに、安全に配慮し、あまし施術、刺鍼・施灸することができる。 7) 各症例に基づいて問題解決を行うことができる。 8) 治療効果を判定することができる。 9) 治療中のアクシデントに適切に対応することができる。 10) 一般患者臨床の診療録を POMR と SOAP で作成できる。 11) 受け持ち患者の情報を要約して、簡潔に提示できる。 12) 症例を検討することができる。 13) 自己の臨床能力を評価できる。 14) 他からの臨床能力評価を受け入れる。	臨床実習又は演習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅲ【病理学演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	坂本　收司 （さかもと　しゅうじ）	
単位数	1 単位			
開講学期	3 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「病理学」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につける。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、病理学について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	「病理学概論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される二次卒業試験の「病理学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される二次卒業試験の「病理学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅲ・病理学演習の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「病理学」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
3 期	1	病因	病因について概説できる。	講義・演習
	2	循環障害	循環障害について概説できる。	講義・演習
	3	退行性病変	退行性病変について概説できる。	講義・演習
	4	進行性病変	進行性病変について概説できる。	講義・演習
	5	炎症	炎症について概説できる。	講義・演習
	6	腫瘍	腫瘍について概説できる。	講義・演習
	7	免疫異常・アレルギー	免疫異常について概説できる。 アレルギーについて概説できる。	講義・演習
	8	先天性異常	先天性異常について概説できる。	講義・演習
	9	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	講義・演習
	10	問題演習②		講義・演習
	11	問題演習③		講義・演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	12	まとめ		講義・演習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅳ【臨床総合演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	坂本　收司 （さかもと　しゅうじ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ専門基礎分野・専門分野の科目（解剖学・生理学・臨床医学総論・臨床医学各論・病理学・リハビリテーション医学・公衆衛生学・東洋医学概論・経絡経穴概論・東洋医学臨床論・あマ指理論・はりきゅう理論など）をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、専門基礎分野・専門分野について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	
参考書	1．解剖学　第 2 版　医歯薬出版 2．生理学　第 3 版　医歯薬出版 3．臨床医学総論　第 2 版　医歯薬出版 4．臨床医学各論　第 2 版　医歯薬出版 5．病理学概論　第 2 版　医歯薬出版 6．ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学第 4 版　医歯薬出版 7．衛生学･公衆衛生学第 2 版　医歯薬出版 8．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社 9．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社 10．東洋医学臨床論〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社 11．東洋医学臨床論〈あん摩マッサージ指圧偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社 12．あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧理論　第 3 版　医道の日本社 13．はりきゅう理論　医道の日本社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） 1．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】 この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅵの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 1．今までに学んだ専門基礎分野・専門分野の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 2．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	解剖学　問題演習	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	講義・演習 試験
	2	生理学　問題演習		
	3	医療概論・衛生学　問題演習		
	4	臨床医学各論　問題演習		
	5	臨床医学総論・リハビリテーション医学　問題演習		
	6	東洋医学概論　問題演習		
	7	経絡経穴概論　問題演習		
	8	東洋医学臨床論　問題演習①		
	9	東洋医学臨床論　問題演習②		
	10	関係法規・病理学　問題演習		
	11	１学期期末試験		
	12	フィードバック		

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅴ【公衆衛生学・法規・医療概論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	大三川 万起子 （おおみかわ　まきこ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	「国民衛生の動向」のデータを参考にしながら、様々な統計を確認し、重要なデータを理解してもらいます。また、今までに学んだ「保健と医療Ⅰ・Ⅱ、社会あはき学Ⅱ」をもとに、「公衆衛生学・医療概論・関係法規」として国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、衛生学について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	１.「衛生学・公衆衛生学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「国民衛生の動向」　厚生統計協会
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される卒業試験の「衛生学・公衆衛生学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．卒業末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される卒業試験の「公衆衛生学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅴの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「公衆衛生学」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	衛生学的統計①	わが国の様々な衛生学的統計を理解できる。	講義・演習
	2	健康・ライフスタイル	健康の定義について概説できる。 健康の増進について概説できる。 疾病予防について概説できる。 健康日本２１について概説できる。 健康と食生活について概説できる。	講義・演習
	3	環境と健康	日常生活環境について概説できる。 各種環境要因について概説できる。 公害について概説できる。 環境問題について概説できる。	講義・演習
	4	産業保健、精神保健	産業保健について概説できる。 精神保健について概説できる。	講義・演習
	5	母子保健、成人･高齢者保健	母子保健について概説できる。 成人･高齢者保健について概説できる。	講義・演習
	6	感染症、消毒法	感染症について概説できる。 消毒法について概説できる。	講義・演習
	7	疫学	疫学について概説できる。	講義・演習
	8	医師法	医師法について説明できる。	講義・演習
	9	その他の医療関係者の法規	薬剤師ほか、医療従事者の法規を挙げ、説明できる。	講義・演習
	10	医療法	医療法により規定されている医療施設を挙げ、説明できる。	講義・演習
	11	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法が規定しているものを挙げ、説明できる。医薬品の分類が説明できる。 医療保険の種類を挙げ、概説できる。 公費医療・医療扶助について概説できる。 国民医療費について概説できる。 わが国の介護保険制度について概説できる。	講義・演習
	12	医療制度・医療保障	医療倫理と医療安全について概説できる。	講義・演習
	13	医療倫理と医療安全	医療法により規定されている医療施設を挙げ、説明できる。	講義・演習
	14	医療・福祉の法規	医薬品医療機器等法が規定しているものを挙げ、説明できる。医薬品の分類が説明できる。	講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅵ【東洋医学概論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	川澄　裕子 （かわすみ　ゆうこ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「東洋医学概論Ⅰ・Ⅱ」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、東洋医学概論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ２．「東洋医学臨床論」〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ３．「東洋医学臨床論」〈あん摩マッサージ指圧偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される卒業試験の「東洋医学概論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される卒業試験の「東洋医学概論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅵの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「東洋医学概論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	基礎理論・陰陽論	基礎理論・陰陽論について概説できる。	講義・演習
	2	五行説・五行色体表	五行説・五行色体表について概説できる。	講義・演習
	3	気血津液の生理	気血津液の生理について概説できる。	講義・演習
	4	気血津液の病理・病証	気血津液の病理・病証について概説できる。	講義・演習
	5	六臓六腑の生理	六臓六腑の生理について概説できる。	講義・演習
	6	六臓の病理・病証	六臓の病理・病証について概説できる。	講義・演習
	7	六腑の病理・病証	六腑の病理・病証について概説できる。	講義・演習
	8	八綱病証・病因論	八綱病証・病因論について概説できる。	講義・演習
	9	臓腑経絡論・経脈病証	臓腑経絡論・経脈病証（十二経絡病証・六経病証・奇経八脈病証）ついて概説できる。	講義・演習
	10	東洋医学的診察法と証の立て方①	東洋医学的診察法と証の立て方について概説できる。	講義・演習
	11	東洋医学的診察法と証の立て方②		
	12	東洋医学的診察法と証の立て方③		
	13	治療原則①	治療原則・刺法について概説できる。	講義・演習
	14	治療原則②・刺法		
		到達目標達成確認試験（一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験（二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2020 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅶ【経絡経穴概論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	黒田　達夫 （くろだ　たつお）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「経絡経穴概論Ⅰ・Ⅱ」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、経絡経穴概論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	経絡経穴概論：東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	WHO 経穴部位日本語公式版
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される卒業試験の「経絡経穴概論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「経絡経穴概論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域･臨床総合講座Ⅶの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「経絡経穴概論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	経絡の概要・骨度法	経絡の概要・骨度法について概説できる。	講義・演習
	2	経穴の概要①	経穴（五兪穴・五要穴）について概説できる。	講義・演習
	3	経穴の概要②・奇経八脈	経穴（その他の要穴）・奇経八脈について概説できる。	講義・演習
	4	現代医学	現代医学について概説できる。	講義・演習
	5	上肢の経穴①	上肢の経穴について概説できる。	講義・演習
	6	上肢の経穴②	上肢の筋・神経について概説できる。	講義・演習
	7	下肢の経穴①	下肢肢の経穴について概説できる。	講義・演習
	8	下肢の経穴②	下肢の筋・神経について概説できる。	講義・演習
	9	体幹部の経穴①	体幹部（背側）の経穴について概説できる。	講義・演習
	10	体幹部の経穴②	体幹部（腹側）の経穴について概説できる。	講義・演習
	11	体幹部の経穴③	体幹部の筋・神経について概説できる。	講義・演習
	12	顔面・頚部の経穴	顔面・頚部の経穴について概説できる。	講義・演習
	13	奇穴	奇穴について概説できる。	講義・演習
	14	まとめ		講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅷ【東洋臨床診察治療学演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	川澄　裕子 （かわすみ　ゆうこ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「東洋臨床診察治療学」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、東洋医学臨床論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	１．「東洋医学臨床論」〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ２．「東洋医学臨床論」〈あん摩マッサージ指圧偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編 ３．リハビリテーション医学　第４版　；東洋療法学校協会編
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される卒業試験の「東洋医学臨床論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される卒業試験の「東洋医学臨床論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅷの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「東洋医学臨床論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	治療原則	治療原則について概説できる。	講義・演習
	2	頭痛・顔面痛	頭痛・顔面痛について概説できる。	講義・演習
	3	顔面麻痺・歯痛・眼精疲労	顔面麻痺について概説できる。 歯痛について概説できる。 眼精疲労について概説できる。	講義・演習
	4	脱毛症・めまい・鼻閉・鼻汁	脱毛症について概説できる。 めまいについて概説できる。 鼻閉・鼻汁について概説できる。	講義・演習
	5	耳鳴り・難聴・咳嗽・喘息	耳鳴り・難聴について概説できる。 咳嗽・喘息について概説できる。	講義・演習
	6	胸痛・腹痛・悪心と嘔吐	胸痛について概説できる。 腹痛について概説できる。 悪心と嘔吐について概説できる。	講義・演習
	7	便秘と下痢・月経異常・排尿障害・インポテンツ	便秘と下痢について概説できる。 月経異常について概説できる。 排尿障害・インポテンツについて概説できる。	講義・演習
	8	肩こり・頚肩腕痛	肩こり・頚肩腕痛について概説できる。	講義・演習
	9	肩関節痛・上肢痛	肩関節痛について概説できる。 上肢痛について概説できる。	講義・演習
	10	腰下肢痛・膝痛	腰下肢痛について概説できる。 膝痛について概説できる。	講義・演習
	11	運動麻痺・高血圧・低血圧	運動麻痺について概説できる。 高血圧・低血圧について概説できる。	講義・演習
	12	食欲不振・肥満・発熱	食欲不振・肥満について概説できる。 発熱について概説できる。	講義・演習
	13	のぼせと冷え・不眠・疲労と倦怠・発疹	のぼせと冷えについて概説できる。 不眠について概説できる。疲労と倦怠・発疹について概説できる。	講義・演習
	14	スポーツ傷害、小児の症状・老年医学	スポーツ傷害について概説できる。 小児の症状について概説できる。 老年医学について概説できる。	講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸マッサージ科

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅸ【あはき理論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	川畑　充伸 （かわはた　みつのぶ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「あはき理論Ⅰ・Ⅱ」をもとに、「はり理論」「きゅう理論」「あまし理論」として国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。また、はり理論、きゅう理論、あまし理論、生理学、その他関連科目とのつながりを確認し、解説をしつつ補充していきます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、あはき理論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される卒業試験の「あはき理論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される卒業試験の「はり理論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅸの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「はり理論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	鍼・灸の基礎知識	鍼・灸の基礎知識について概説できる。 灸の種類を概説できる。	講義・演習
	2	刺鍼の方式と術式、特殊鍼法	刺鍼の方式と術式について概説できる 特殊鍼法について概説できる。	講義・演習
	3	鍼・灸の臨床応用とリスク管理	鍼・灸の臨床応用について概説できる。 鍼・灸のリスク管理について概説できる。	講義・演習
	4	鍼・灸の治効の基礎①	鍼・灸治効の基礎について概説できる。	講義・演習
	5	鍼・灸の治効の基礎②	鍼・灸の禁忌について概説できる。	講義・演習
	6	鍼・灸療法の一般治効理論①	鍼・灸療法の一般治効理論について概説できる。	講義・演習
	7	あマ指の生体に及ぼす作用	あマ指が各組織・器官に及ぼす作用について概説できる。	講義・演習
	8	運動法の生体に及ぼす作用、按摩・マッサージ・指圧の治療効果	運動法が生体に及ぼす作用について概説できる。 按マ指の治療効果について概説できる。	講義・演習
	9	あマ指と東洋医学	あマ指の基本手技について概説できる。 古法按摩と導引について概説できる。 運動法・結合織マッサージ・リンパドレナージについて概説できる。	講義・演習
	10	あマ指の応用分野	あマ指がどのような分野で用いられているかについて概説できる。 併用する物理療法の効果と相乗効果について概説できる。	講義・演習
	11	あマ指の臨床応用とリスク管理	按マ指の適応疾患（症状）と禁忌疾患（症状）について概説できる。 按マ指のリスク管理について概説できる。	講義・演習
	12	あマ指治効の基礎	あマ指治効の基礎について概説できる。	講義・演習
	13	あマ指の生体に及ぼす作用	あマ指が各組織・器官に及ぼす作用について概説できる。	講義・演習
	14	運動法の生体に及ぼす作用、按摩・マッサージ・指圧の治療効果	運動法が生体に及ぼす作用について概説できる。 按マ指の治療効果について概説できる。	講義・演習
	15	関連学説	関連学説について概説できる。	講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	16	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	17	問題演習②		演習
	18	問題演習③		演習
	19	問題演習④		演習
	20	問題演習⑤		演習
	21	問題演習⑥		演習
	22	問題演習⑦		演習
	23	問題演習⑧		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸科・Ⅱ部鍼灸科・鍼灸マッサージ科
【分野】　選択科目

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】病態生理Ⅰ【内科診断学】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	村瀬　訓生 （むらせ　のりお）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	はり師・きゅう師（以下、鍼灸師）が医療連携を行っていく上で、病院等の医療関係者が患者にどの様な視点で係わっているのかを理解する必要がある。そこで、内科医が普段どの様な視点で診察を行っているかを理解し、はき臨床に応用できる診察法を学んでいくために、学園付属の呉竹メディカルクリニックの医師に内科診断のポイントを教授していただく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸師が医療連携を行っていくために、内科の診察法を理解するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	特に指定しない。
参考書	１．「フィジカルアセスメントがみえる　第１版」; メディックメディア ２．「ビジュアルノート　第５版」; メディックメディア ３．「内科診断学第３版」; 医学書院 ４．「メルクマニュアル医学百科 家庭版」; URL;http://mmh.banyu.co.jp/index.html
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上により履修とする。この科目は選択科目・内科診断学の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．西洋医学と東洋医学、それぞれの特徴（長所と欠点）を理解してほしい。また、西洋医学における診断に至るまでの過程を理解してほしい。 ２．試験問題は講義中に紹介する。また、練習問題からも出題する。 ３．第１回目の授業は４月３日（金）の予定。 ４．講義は８Ｆ実技室で行うが、第 11 回は５Ｆ講堂・柔道場で行う。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	感染予防と標準予防策	感染予防と標準予防策が理解できる。	講義
	2	内科診断の進め方	西洋医学における診察の基礎が理解できる。	講義･実習
	3	現症のとり方 問診・バイタルサイン①	内科的問診のとり方を理解できる。 バイタルサインが説明できる。 バイタルサインの確認が実践できる。	講義･実習
	4	現症のとり方 問診・バイタルサイン②		講義･実習
	5	理学的診断法① 心疾患の病態と診断の基本	主な心疾患の病態が理解できる。 心疾患の診断の基本が理解できる。	講義･実習
	6	理学的診断法② 呼吸器疾患の病態と診断の基本	主な呼吸器疾患の病態が理解できる。 呼吸器疾患の診断の基本が理解できる。	講義･実習
	7	理学的診断法③ 消化器疾患の病態と診断の基本	主な消化器疾患の病態が理解できる。 消化器疾患の診断の基本が理解できる。	講義･実習
	8	理学的診断法④ 神経系疾患の病態と診断の基本	主な神経系疾患の病態が理解できる。 神経系疾患の診断の基本が理解できる。	講義･実習
	9	代謝･内分泌疾患 病態と診断の基本 血液検査の評価	主な代謝・内分泌疾患の病態が理解できる。 代謝・内分泌疾患の診断の基本が理解できる。 代謝・内分泌疾患を評価する血液検査項目が理解できる。	演習
	10	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	11	ＥＢＭ（科学的根拠に基づいた医療）の演習と肥満者生活指導に関する演習	ＥＢＭの意味を説明できる。 ＥＢＭに基づいた診察法を実践できる。 肥満者への生活指導について説明できる。	講義･実習
	12	ＡＥＤ実習	ＣＰＲの基本について説明できる。 ＡＥＤの基本的な使用方法が説明できる。	講義･実習

2020 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　選択科目

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】病態生理Ⅱ【整形外科学】

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	有澤　治 （ありさわ　おさむ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 学期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	はり師・きゅう師（以下、あはき師）が医療連携を行っていく上で、病院等の医療関係者が患者にどの様な視点で係わっているのかを理解する必要がある。そこで、整形外科医が普段どの様な視点で診察を行っているかを理解し、はき臨床に応用できる診察法を学んでいくために、学園付属の呉竹メディカルクリニックの医師に整形外科診断のポイントを教授していただく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	あはき師が医療連携を行っていくために、整形外科の診察法を理解するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	特に指定しない。
参考書	１.「臨床医学各論」; 東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上により履修とする。この科目は選択科目・整形外科学の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．講義は３時限目(13：30～15：00)で行われます。 ２．西洋医学における診断に至るまでの過程を理解してほしい。 ３．診断学の基礎となる科目であるため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。ノートを取るだけでなく、話をよく聞くこと。 ４．試験は講義内容より出題します。是非理解してもらいたい箇所は講義中にお話ししながら進めます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
２期	1	総論	整形外科の概要が理解できる。	講義
	2	画像診断の進め方①　Ｘ線	画像診断の進め方が理解できる。 Ｘ線所見による診断の進め方が理解できる。	講義
	3	画像診断の進め方② ＭＲＩ・ＣＴ・各種撮影法	ＭＲＩ・ＣＴ・各種撮影法による診断の進め方が理解できる。	講義
	4	頚椎疾患①	頸椎疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 頸椎疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	5	頚椎疾患②		講義
	6	肩関節疾患①	肩関節疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 肩関節疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	7	肩関節疾患②		講義
	8	肩関節疾患③		講義
	9	上肢の疾患	上肢の疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 上肢の疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	10	上肢の末梢神経障害	上肢の末梢神経障害の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 上肢の末梢神経障害の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	13	腰椎疾患①	腰椎疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 腰椎疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	14	腰椎疾患②		講義
	15	腰椎疾患③		講義
	16	膝関節疾患①	膝関節疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 膝関節疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	17	膝関節疾患②		講義
	18	下肢の疾患	下肢の疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 下肢の疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	19	感染症疾患	感染症疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 感染症疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	
	20	スポーツ疾患	スポーツ疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 スポーツ疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	21	高齢者の外傷	高齢者の外傷の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 高齢者の外傷の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	22	多発外傷と難治性骨折	多発外傷と難治性骨折の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 多発外傷と難治性骨折の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義